SIRCAD[®] スタートアップガイド



<Program Ver6.00>

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの全部若しくは一部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果による影響に関しては、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアをご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。ご使用と同時に、同条項へのご同意があったものとさせていただきます。
- XVLの著作権等は以下の通りです。
 「本ソフトウェアの一部は、ラティス・テクノロジー株式会社の所有物です。
 Copyright © 2002 Lattice Technology, Inc. All Right Reserved.」
- CAB32.DLL はフリーソフトウェアです。著作権等は以下の通りです。
 This dynamic link library is based in part on the Microsoft's CAB-SDK.
 Copyright © Microsoft Corporation 1993-1997 All Rights Reserved.
 Copyright © K.Miyauchi 1997-2001 All Rights Reserved.

商標について

■ 日本語 Microsoft® Windows® 10 は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。

目次	
日次	

1	はじめに1
	SIRCAD のインストールについて1
2	Version6 について2
	Version 6. 00の新機能
	ネットワーク認証について4
	Version6 のメニュー画面について6
	Version5の JOBを Version6 で使用するには7
	システム設定を Version6 へ移行するには・・・・・・・・・・・8
з	SIPCAD の概要 13
5	SINCAD の成要
	SINCAD ① E TS
	3110月00至个课目
4	構造計算データを SIRCAD に変換する18
	変換に使用する構造計算データファイルについて18
	壁・スラブの標準配筋をセットする
	梁の腹筋段数をセットする
	変換手順
5	3D 表示で相覚的に建物データを確認する 42
5	3Deve で XVI ファイルに変換する
6	定義と配置を追加する43
	配置の基本操作44
	基礎定義を追加する48
	基礎を配置する49
	配置層を変更する
	部材の詳細設定を行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
	小梁定義に鉄筋情報を追加する・・・・・・・・・・・・・・・・55

7	配置データを編集する	56
	梁の寄りを設定する	
	雑壁を配置する	
8	図面を作成する	60
	自動作図の基本操作	60
	柱リストを作図する	63
	軸組図を作図する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	作図設定の変更方法	
	変更の手順	71
	変更点を作図に反映させるには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
9	図面を印刷する	79
	印刷する	79
10	2DCAD に変換する	
	AutoCAD(dxf ファイル)に変換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	DRACAD Win(mpx ファイル)に変換する・・・・・・・・	
	jw_cad(jwc ファイル)に変換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
11	設計数量算出の準備をする	
	鉄筋・コンクリート材料を指定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	鉄筋の定着・継手長設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
	鉄筋継手設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	93
	鉄筋詳細設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
12	設計数量算出をする	95
	コンクリート算出をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	95
	鉄筋算出をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
	鉄骨算出をする	99
13	個別数量入力で数量を追加する	
	階段の数量を追加する	

14	各種帳票を作成する103
	帳票を作成する
15	システムテーブル管理106
	システム設定を登録する107
	システム設定を読み込む
16	JOB 間データコピー109
	JOB 間データコピーをする109
17	製品サポートサービス111
	お問い合わせ先
	最新版を取得する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111
	メール配信サービス【SIRCAD 通信】について 112
謝辞	

1. はじめに

本書は、SIRCAD の基本的な使い方をご説明する操作ガイドです。 初めて SIRCAD をご使用する方は、本書を一通りご覧になる事をおすすめします。

SIRCADのインストールについて

SIRCAD のインストール方法については、弊社のホームページより[インストールマニュアル]をダウンロードしてご参照ください。

2. Version6について

Version6.00の新機能

Version6.00 で追加された主な新機能、変更点

<共通機能>

■メニュー表示をツリー形式に変更しました。

<変換関連>

- ■[From CREA]で使用する SEIN La CREA データを[*.stx]から、[Stxt ファイル群]に変更しました。
- ■ST-Bridge[Ver2.0.1]をインポート/エクスポートできるようになりました。
- ■インポート後に JOB が自動で読み込まれるようになりました。

<設計条件>

- ■使用鋼材種設定の材料名に任意の鋼材種が設定できるようになりました。
- ■RC 柱、RC 大梁のフカシ筋が入力できるようになりました。 鉄筋数量算出でフカシ筋を算出します。

<定義関連>

- ■柱の帯筋、梁の肋筋がそれぞれ 10 本以上入力できるようになりました。
- ■ブレース定義名を以下のように変更しました。 水平ブレース定義 → ブレース定義 垂直ブレース定義 → 垂直ブレース組定義
- ■RC 大梁定義および配置にて、カットオフ筋長さが入力できるようになりました。

<配置関連>

■配置画面において、文字サイズと符号表示位置が変更できるようになりました。

■立面配置において、詳細設定モードで入力できるようになりました。

■多層に渡る柱/壁/ブレースを配置することができるようになりました。

■柱配置において、柱頭柱脚それぞれのX,Y,Zオフセットが設定できるようになりました。

■梁配置にて、始終端それぞれのX,Y,Zオフセットが設定できるようになりました。

■壁配置において、4節点それぞれのX,Y,Zオフセットが設定できるようになりました。

■スラブ配置にいて、8 点までの節点それぞれの X,Y,Z オフセットが設定できるようになりました。

<数量算出関連>

■鉄骨算出で大梁の長さを柱の芯-芯/面-面で、小梁の長さを大梁の芯-芯/面-面で選択して計算できるようになりました。

ネットワーク認証について



ネットワーク認証とは、インターネットを利用してライセンス管理を行う仕組みをいいます。

特徴

・購入していただいたライセンス数の PC で同時に『SIRCAD』を使用することができます。

・ライセンスを返却しない限り、ライセンスは PC に保持され、インターネットでの弊社サーバーへの

問い合わせは行いませんので、インターネットに接続していない環境でも使用可能です。

・『SIRCAD』を自宅の PC にインストールし、会社でライセンスを返却し、自宅でライセンスを取得することで、自宅でも使用可能です。

・ユーザ ID とパスワードでログインし、ライセンスを取得し『SIRCAD』を起動します。

『SIRCAD』の終了時には、ライセンスの返却を行うかどうかの問合せがありますので、どちらかを選択することができます。

・パスワードはログイン時に変更することができます。

Version6のメニュー画面について

Ver6よりメニューレイアウトが変更になりました。

メニュー構成がツリー形式となり、入力・構造図・数量のタブをクリックすることでメニューを切り替えることができます。 Ver6のメニューレイアウトは以下の通りです。

1	入力タブ
9	/ / / / / /

📑 SIR	CAD Ver.6								_		×
10	B 選択(<u>F</u>)	ィンポート∕ェクスポート <u>(D</u>)	確 認(<u>C</u>)	設計条件(<u>]</u>)	建物形状(<u>K</u>)	部材定義(<u>S</u>)	部材配置(<u>A</u>)	編集(<u>E</u>)	継手(<u>]</u>)	接合部(<u>P</u>)	Ŧ
አታ	構造図	数量									
	J O B 単 一 J O B 単 一 1 の 2 1 3 1 1 1 3 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 択 /エクスポート 入力チェック、3 D表示) : (コンクリート・鉄筋・鋼材など) : (スレく、階高など) (基礎、柱など) : (基礎、柱など) 号、寄り一括変更) : 梁、ブレース) 小平スチフナなど) ブル(鋼材・鉄筋定着など) デイー 									
📑 D:	¥SIRCAD	6¥DATA¥									.::

(2) 構造図タブ

SIRCAD Ver.6						_		×
JO <u>B選択(F)</u> 作网	(<u>D</u>) 作図設定(<u>S</u>)	作図条件(1)	出力(<u>0</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)			ウィンド	^ŵ ウ(<u>W</u>)
入力 構造図 資量 入力 構造図 資量 ● ○ 介図 ● ○ 作図設定 ● ○ 作図設定 ● ○ 作図条件 ● □ 10							74.20	·)(<u>w</u>)
	Δ¥							

③ 数量タブ

SIRCAD Ver.6	_		×
JOB選択(<u>E) 個別数</u> 量(<u>I</u>) エ区(<u>A</u>) 数量算出(<u>E</u>) 集計(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		ウィンド	(<u>W</u>)ל
入力構造的数量			
⊕- <mark>」 JOB </mark>			
⊕ 致重昇出 ⊕ 集 計			
🛄 D:¥SIRCAD6¥DATA¥			

※ツリーメニューの表示は切り替えることができます。P16「メニュー構成」をご参照ください。

Version5のJOBをVersion6で使用するには

今まで使用していた Ver5の JOBを Ver6 にインポートし使用することができます。

① SIRCAD Ver6 を起動し、[入力]タブ→[JOB 選択]→[SIRCAD Ver5 データインポート]を開きます。



※「SIRCAD Ver5 データインポート」で Ver6 にインポートできるのは、JOB に保存されているデータのみになります。 システムテーブルの設定内容を移行する手順は、P8「システム設定を Version6 へ移行するには」をご参照ください。

② Ver5 からインポートする JOB を選択し、[インポート]をクリックします。

■SIRCAD Ver.5 データインポート				×
SIRCAD Ver.5 データバス D:¥SIRCAD [Version 5.00]¥DATA¥				参照
JOB名 タイトル	更新日時	パージョン		
Sample1 <某争扬所新築工争 >	2013/0//18 12:54:24	5.00 [Kev.00	U]	
選択したSIRCAD Ver 5のJOBデータをSIRCAI (ShiftキーまたはCtrlキーを押しながら選択で)Ver 6データとしてインポートします 実数選択が可能です)			
「インボート先フォルダーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
D¥SIRCAD6¥DATA¥			1	変更
		インポート	閉じ	3

③ インポートが完了しましたら、[「SIRCAD Ver5 データインポート]画面を閉じます。



※SIRBIMaの JOBは Ver6の JOBとファイル形式が同じため、Ver6 でそのまま使用することができます。

システム設定をVersion6へ移行するには

今まで使用していたシステム設定を新バージョンでも使用することができます。 システム設定の移行は、前バージョンのシステムテーブルファイルを Ver6 で読み込むことで行えます。

※システム設定には、下位互換はありません。Ver6のシステム設定を Ver6より前のバージョンで読み込まないようにしてください。

※前バージョンで既にシステムテーブルファイルを登録している場合は、P11「SIRCAD Ver6 での操作」から行ってください。

・Ver5のシステム設定をVer6へ移行する場合

Ver6 で読み込むシステムテーブルファイル『*.st2』を Ver5 で登録します。

「SIRCAD Ver5 での操作」

① SIRCAD Ver5 を起動し、[システムテーブル管理]を開きます。



② 下記の画面にて、必要に応じて保存場所、ファイル名等を変更します。[登録]をクリックします。

👫 システムテーブ	ル管理			×
ーシステムテー: システムテー: または登録し	ガル管理〈概要〉 ガル設定情報を1つのファイルに登録、 こシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。			
あらかじめ納2 物件毎に登録 また、複数の/ 簡単にシステ	人先用にシステムテーブル設定情報を登録することで、 してあるシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。 やノコンでご利用の場合。 ムテーブル設定情報を受け渡すことができます。			
- 現在のテーブ D:¥SIRCAD [\ (テーブルバス	レパスー fersion 5.00]¥TABLE¥ 」は環境設定:「テーブルバスの設定」で変更することができます)			
	ーシステムテーブル設定情報をファイルに登録します 			
 登録	_JOB : Sample ▼ 上記JOBの設定情報も登録する			
読み込み	保存する場所 D¥SIRCAD [Version 5.00]¥DATA¥			
	タイトル システムテーブル設定情報1			.st2
	コメント システムテーブル設定情報100コメント		>	\sim
		登録	キャンセ	પ્ર

・SIRBIMa のシステム設定を Ver6 へ移行する場合

Ver6 で読み込むシステムテーブルファイル『*.st3』を SIRBIMa で登録します。

「SIRBIMaでの操作」



1 SIRBIMaを起動し、[システムテーブル管理]を開きます。

(2) 下記の画面にて、必要に応じて保存場所、ファイル名等を変更します。[登録]をクリックします。

闘 システムテーフ	ル管理			×
システムテー システムテー または登録し あらかじめ納込 物件毎に登録 また、複数のど	ブル管理〈概要〉 ブル設定情報を1つのファイルに登録。 シンステムテーブル設定情報を読み込むことができます。 〈先別にシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。 くてあるシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。 〉ノコンでご利用の場合。、ホーーンドマキャナ			
間単にシステ 現在のテーブ D:¥SIRBIM&¥ (テーブルパス	ムナーフル転走宿報でスリスタッことかでさます。 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			
 登録 登録 読み込み 初期化 	システムテーブル設定情報をファイルに登録します JOB毎の設定 JOB (フォルダ内)毎の設定情報も登録できます。 JOB : Sample1 マ 正記JOBの設定情報的登録する (保存する場所 D+SIRBIMα¥ ファイル名 Table1 タイトル システムテーブル設定情報1 コメント システムテーブル設定情報1のコメント	<u></u> 登録) F+>>t	

・SIRCAD Ver6 での操作

① SIRCAD Ver6 を起動し、[入力]タブ→[ユーティリティー]→[システムテーブル管理]を開きます。



② [読み込み]ボタンをクリックし、[ファイル名]から『SIRCAD Ver5』もしくは『SIRBIMa』のシステムテーブルファイルを選択し、 「テーブルに読み込み]をクリックします。

		200.20			
🎼 システムテーブ	ル管理				\times
ーシステムテーニ システムテーニ または登録し あらかじめ納う 物件毎に登録 また、複数の/ 簡単にシステ	ブル管理 <概要> ブル設定情報を1つのファイル こシステムテーブル設定情報 へ先別にシステムテーブル設 してあるシステムテーブル設 でリンプでご判用の場合、 ムテーブル設定情報を受けれ	いこ登録、 肺を読み込むことができます。 定情報を登録することで、 定情報を読み込むことができます。 ますことができます。			
現在のテーブ, D:¥SIRCAD6¥ (テーブルバス	ルバス TABLE¥ Jは環境設定: [テーブルバス	の設定]で変更することができます)			
登録	- システムテーブル設定情報 ファイルの場所 [D¥SIRC ファイル名 Table_SIRCAD.st3	報ファイルを読み込みます → AD [Version 5.00]¥ タイトル 「システムテーブル設定情報1 コメント 「システムテーブル設定情報1	のコメント		
		JOBIこ読み込み テーブル	こ読み込み	キャンセル	-

③ 下記メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



④ テーブルに読み込みが完了しましたら、[システムテーブル管理]画面を閉じます。



3. SIRCADの概要

SIRCADでできること

SIRCAD(Skeleton and Infill Resolution CAD)は、スケルトンの設計をビジュアルに多方面から支援するシステムです。 建築構造図、躯体図の自動作図および設計数量算出を行います。

昨今の一貫構造計算プログラムでは、自由な建物形状を入力し計算できるようになってきています。

『SIRCAD Ver5』ではそれらの建物形状を正確に取り込むことが困難な場合があります。

『SIRCAD Ver6』ではそのような建物形状を取り込むため全ての部材に XYZ 方向のオフセットを追加しました。設計から積算、施工、 作図に至るまで共通のデータベースを基に作業を行うことを理想とし、SIRCAD は着実に進化しています。下図がその概要図です。



システム関連図

SIRCADの基本操作

起動

アイコンをダブルクリック、または画面左隅にあるタスクバーの「スタート」アイコンをクリックします。

・スタートメニューからの起動				2(S	IRCAD Ver6〕をクリック
				SIRCAD Ver.6	
 ① ここに入力して検索 	Ц	R	7	0.スタートアップガイド	
		, where the second seco	7	1.操作編	
① [スタート]アイコンをクリック		ß	7	2.データ変換編	
			7	3.作図出力編	
		វទីរ	7	4.設計数量算出編	
		w	R	5.よくある質問編	③[SIRCAD Ver6]をクリック
		Ф	Ğ	SIRCAD Ver.6	

下記のログイン画面が表示されます。

ユーザ ID とパスワードを入力し「ログイン」ボタンをクリックします。

So ログイン		-	- [×
アプリケーション名称	SIRCAD Ver.6.00			
ユーザID				
パスワード				
	🗌 新しいパスワード	を設定する		
ログイ	ン 	₿ [#]	103	

使用者名登録画面が表示された場合は、使用者名を入力し「OK」ボタンをクリックします。

※『SIRCAD Ver5』ご購入時に"ニックネーム機能を使用する"で申し込まれた場合にこの画面が表示されます。



オプションがある場合は、下記のオプション設定画面が表示されます。 使用するオプションを選択し、「OK」ボタンをクリックします。 ※オプションがない場合はこの画面は表示されません。



以下の画面が表示されます。

「アプリ起動」ボタンをクリックします。

🔊 ライセンス情報					-		×
ユーザ名	㈱ソフトウェアセンター		使用者名	ユーザーA			
アプリケーション名称	SIRCAD Ver.6.00						
保守有効期限	2021/05/01	※期限を過ぎると、現在より新しいバージョンは	ご利用できなくなります	ŧ.			
ライセンス保持期間	10日	※期間を過ぎると、ライセンスは自動的に返却さ	されます。				
お知らせ	(お知らせはあり	ません。)					^
		r					
			アプリ起動	ライセンス再り	取得	終了	•

『SIRCAD』が起動します。

👫 SIRCAD Ver.6								-		Х
J O B 選択(<u>F</u>)	インポート/エクスポート(<u>D</u>)	確 認(<u>C</u>)	設計条件(<u>]</u>)	建物形状(<u>K</u>)	部材定義(<u>S</u>)	部材配置(<u>A</u>)	編集(<u>E</u>)	継手(<u>]</u>)	接合部(P) 📮
 入力構進図 □ 30B選 □ 40.000 □ 40.000 □ 2000 □ 2000<	数量 択 / エクスポート ス力チェック、3 D表示) (コンクリート・鉄筋・銅材など) (スパン、階高など) (基礎、柱など) 昼礎、柱など) 号、寄り一括変更) 、梁、プレース) 水平スチブナなど) プル(鋼材・鉄筋定着など) ティー									
D:¥SIRCAD	6¥DATA¥									

・メニュー構成

各作業フォームは、左側のメニュー一覧から選択することができます。 また、上部のメニューからも選択することができます。



作業領域を広く取る場合は、左下の
アイコンをクリックすると、左側のメニューが[タブ表示]になります。
もう一度クリックすると、左側のメニューが[常時表示]に戻ります。



・閉じる

作業中のフォーム画面右上の「×」ボタンをクリックすると、そのフォームを閉じます。 ※または、メイン画面右上の「×」ボタンをクリックしても、作業中のフォームを閉じることができます。 その他、キーボードの Esc や / キーを押すと作業中のフォームが閉じます。



·終了



メイン画面右上の「×」ボタンをクリックすると、『SIRCAD』が終了します。

但し、作業中のフォームがある状態で、メイン画面の「×」ボタンをクリックすると作業中のフォームが閉じます。

4. 構造計算データをSIRCADに変換する

SIRCADは、新規に建物データを入力することができますが、構造計算データを読み込んで、 建物データ入力の手間を省略することができます。 構造計算データを読み込むことで、モデルデータをはじめから作成する必要がなくなり、 作図と設計数量算出を迅速に行うことが可能になります。 ここでは、変換の準備(標準配筋設定と変換設定)を行ってから、構造計算データを SIRCAD に読み込む手順を説明します。

変換に使用する構造計算データファイルについて

SIRCAD データに変換できる一貫構造計算データは以下の通りです。

(1)ADAM のOUTデータ (TIS株式会社)
(2)BUILD.一貫 V の一括建物データ (株式会社構造ソフト)
(3)BUS-6 のテキストデータ (株式会社構造システム)
(4)SEIN La CREA のテキストデータ (株式会社 NTT ファシリティーズ総合研究所)
(5)Super Build / SS3 のCSVデータ (ユニオンシステム株式会社)
(6)Super Build / SS7 のCAD7データ (ユニオンシステム株式会社)

変換に使用するファイルについて説明します。

(1) ADAMADAM で作成したデータファイル『*.tex』を使用します。

ADAM での操作: OUT コマンドにて『*.tex』を作成します。

(2) BUILD.一貫 V

物件名フォルダ内にあるデータファイルの内、以下を使用します。 BUILD.一貫V : 『build.inp』と『ik5.inp』を使用します。 なお、一括建物データ内で断面登録ファイルを参照している場合は、『断面登録ファイル』も使用します。 断面登録ファイルとは、次の4つのファイルを指します。 断面登録ファイル: CME1.LST、CME2.LST、GME1.LST、GME2.LST

(3) BUS-6

データベース番号 7.0 以上は ST-Bridge 経由にて、データベース番号 6.9 以下の場合は BEE で変換となります。

・データベース番号 7.0 以上の場合
BUS-6 から出力した ST-Bridge を指定してください。
BUS-6 での操作:
[ファイル]→[BIM データ]→[ST-Bridge ファイル作成]→「STB ファイル作成」
→任意の保存先に『*.STB』を保存します。

・データベース番号 6.9 以下の場合 BUS-6 から出力した BEE を指定してください。 BUS-6 での操作 : [ファイル]→[テキストファイルの出力] →任意の保存先に『*.bee』を保存します。

(4) SEIN La CREA

SEIN La CREA で出力した『*.Stxt』ファイル群を使用します。 使用するファイル群は、下記の 3 つです。 部材定義.Stxt、材料定義.Stxt、断面定義.Stxt

(5) Super Build / SS3

SS3 で作成したデータファイル『*.csv』を使用します。
 SS3 での操作:
 『*.csv』を出力します。
 [CSV ファイル出力]→[全て選択]→[SS3→CSV ファイル]→任意の保存先に『*.csv』を保存します。

※基礎データ(Super Build / BF1)を変換する場合
 BF1 で作成したデータファイル『*.csv』を使用します。
 BF1 での操作:
 『*.csv』を出力します。
 [オプション]→[動作設定]→[データ保存時に、基礎データのCSV 出力を行う]にチェックを入れます。
 BF1 データ保存時に『*.csv』ファイルが出力されます。

(6) Super Build / SS7

Super Build / SS7 から出力した CAD リンクファイル『*.cad7』を使用します。

【SS7本体の準備】 CAD リンクファイル『*.cad7』の出力方法 Super Build/SS7 にて、「解析指定」で「準備計算」にチェックし、「計算実行」後、 「結果の一覧」画面で「CAD リンク」ボタンをクリックします。

⇒ 結果(の一覧			×
לפם	保存先	۶t	解析日時	解析済
£	結果1		2020/05/18 09:53:26	準備計算
	結果2			未使用
	結果3			未使用
	結果4			未使用
	結果5			未使用
1				CADUNA

壁・スラブの標準配筋をセットする

データ変換の準備について説明します。

あらかじめ「壁・床標準配筋設定」にて、配筋情報をセットしておきます。 構造計算データの壁・スラブに配筋情報がない場合、壁・床定義の配筋情報は「壁・床標準配筋設定」で設定した配筋で変換します。

- 1. 入力]タブを選択します。
- 2. [インポート/エクスポート]カテゴリの「データ変換設定」を開きます。

3. 「壁の標準配筋」又は「床版の標準配筋」を選択します。



壁の場合:「壁の標準配筋」を選択します。

16 橋	標準配筋設 別	定テーブルのファイル選択	—
۲	壁配筋1	┃標準配筋設定テーブル	終了
0	壁配筋2		
0	壁配筋3		複写
0	壁配筋4		削除
0	壁配筋5		
0	壁配筋6		
0	壁配筋7		
0	壁配筋8		
0]	壁配筋9		

標準配筋設定は、9 種類までテーブルを登録することができます。 新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「複写」してテーブルの内容を編集します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを 。で指定します。 テーブルを削除することもできます。

「壁配筋」ボタンをクリックします。	0
-------------------	---

Line Line 工 車量 二 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th="" th<=""><th>侄</th></th1<></th1<></th1<></th1<>	侄
M12 I 120 S 全 D10 @200 D10 @200 W15 I 150 C 全 D10 @200 D10 @200 2 D10 2	
W12 I 120 S 全 D10 @200 D10 @200 W15 I 150 C 全 D10 @200 D10 @200 2 D10 2 D10 2 D10	
W15 I 150 C 全 D10 @200 D10 @200 2 D10 2 D10 2 D	
)10
W18 1 180 D 全 D10 @200 D10 @200 2 D13 2 D13 2 L)13
W20 I 200 D 全 D13 @200 D13 @200 2 D13 2 D13 2 D13 2 D)13

・壁厚に対応して、配筋データを登録します。

・壁符号は、ダミーで入力しておきます。

※実際の壁符号は、インポートした一貫構造計算データで決まります。

・テーブルに対応した壁厚が無い場合は、「壁厚=0」の Default 符号の配筋情報がセットされます。

床の場合:「床版の標準配筋」を選択します。

6	票準配筋設)	定テーブルのファイル選択	×
œ	床配筋1	標準配筋設定テーブル	終了
0	床配筋2		
0	床配筋3		複写
0	床配筋4		削除
0	床配筋5		
0	床配筋6		
0	床配筋7		
0	床配筋8		
0	床配筋9		

標準配筋設定は、9 種類までテーブルを登録することができます。 新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「複写」してテーブルの内容を編集します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを。で指定します。 テーブルを削除することもできます。

「床配筋」ボタンをクリックします。

符 号	床厚	仕上 重量	t	配筋	d	位置	(羽1	<u>端音</u> 探り	<u>₿</u> I⊬‰∓	(종1	<u>中</u> ! [終っ	央 Treas	(종1	<u>Ax∙A</u> [28-2	λy Γ⊭∿∞≖	端厚	ハンチ長	
Default	0	<u> </u>	3	D	м	- -	D10	11±4	@200	D10	11±4	@200	D10	11±4	@200			Ĺ
			-	-		下	D10		@200	D10		@200	D10		@200			F
					S	Ŀ	D10		@200	D10		@200	D10		@200			
						下	D10		@200	D10		@200	D10		@200			
S1	150			D	М	F	D10	D13	@200	D10	D13	@200	D10	D13	@200			
						下	D10		@200	D10		@200	D10		@200			
					S	上	D10	D13	@250	D10	D13	@250	D10	D13	@250			H
						下	D10		@250	D10		@250	D10		@250			L
S1	160			D	М	上	D10	D13	@200	D10	D13	@200	D10	D13	@200			L
						下	D10		@200	D10		@200	D10		@200			L
					S	上	D10	D13	@250	D10	D13	@250	D10	D13	@250			L
						下	D10		@250	D10		@250	D10		@250			L
S1	180			D	М	上	D10	D13	@200	D10	D13	@200	D10	D13	@200			L
						下	D10		@200	D10		@200	D10		@200			L
					S	上	D10	D13	@200	D10	D13	@200	D10	D13	@200			L
						下	D10		@250	D10		@250	D10		@250			١.

・床厚および床属性(S, CS, FS)に対応して、配筋データを登録します。

・床符号のサフィックス部分はダミーですが、床の属性により、以下の様に符号を入力します。

一般床 Sxxx

片持床 CSxxx

底盤 FSxxx (xxx は、サフィックス部)

※実際の床符号は、インポートした一貫構造計算データで決まります。

・テーブルに対応した床厚が無い場合は、「床厚=0」の Default 符号の配筋情報がセットされます。

配筋情報をセットし、「壁/床標準配筋設定」画面を閉じて保存します。 以下の「壁/床標準配筋設定テーブル選択」画面に戻ります。

6 t	票準配筋設定	定テーブルのファイル選択	×
œ	壁配筋1	┃標準配筋設定テーブル	終了
0	壁配筋2		
0	壁配筋3		複写
0	壁配筋4		削除
0	壁配筋5		
0	壁配筋6		
0	壁配筋7		
С	壁配筋8		
0	壁配筋9		

1 6 t	票準配筋設定	ミテーブルのファイル選択	×
œ	床配筋1	標準配筋設定テーブル	終了
$^{\circ}$	床配筋2		
$^{\circ}$	床配筋3		_ 複写
$^{\circ}$	床配筋4		削除
$^{\circ}$	床配筋5		
С	床配筋6		
С	床配筋7		
С	床配筋8		
$^{\circ}$	床配筋9		

「終了」または 💌 ボタンで画面を閉じます。

梁の腹筋段数をセットする

あらかじめ「データ変換詳細設定」にて、梁の腹筋情報をセットしておきます。 梁定義に「データ変換詳細設定」で設定した腹筋段数で変換します。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [インポート/エクスポート]カテゴリの「データ変換設定」を開きます。
- 3. 「データ変換詳細設定」を選択します。



チェックを付けた梁の腹筋を作成します。

★ データ変換詳細設定 変換詳細設定		
▼ PC大梁 腹筋作成 梁成 腹 筋 mm以上 段 径 800 2 D10 ▼ 1200 3 D13 ▼ 1500 4 D13 ▼ 1800 5 D13 ▼ 2100 6 D13 ▼ 2400 7 D13 ▼ ▼	▼ RC基礎梁 腹筋作成 ▼ RC小梁 梁成 腹 筋 mm以上 段 徑 900 1 D10 ▼ 第 000 1 D10 ▼ 1200 3 D13 ▼ 1200 1800 5 D13 ▼ 1500 2100 6 D13 ▼ 1500 2400 7 D13 ▼ ▼ ▼ ▼	L RC基礎小梁 服筋作成 L RC基礎小梁 服筋作成 L RC基礎小梁 服筋作成 L RC基礎小梁 服筋作成 R R R R R R R R R R R R R R R R R
		OK キャンセル

「OK」または 🔤 ボタンで画面を閉じます。

変換手順

構造計算データを SIRCAD に変換し、変換したデータを選択する方法を説明します。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [インポート/エクスポート]カテゴリの「インポート」を開きます。
- 3. [インポート]から SIRCAD データに変換する項目を選択します



- (1) ADAM を使用する場合は P27 へ進んでください。
- (2) BUILD.一貫 V を使用する場合は P29 へ進んでください。
- (3) BUS-6を使用する場合は P31 へ進んでください。
- (4) SEIN La CREA を使用する場合は P33 へ進んでください。
- (5) Super Build/SS3 を使用する場合は P36 へ進んでください。
- (6) Super Build/SS7 を使用する場合は P38 へ進んでください。

(1) ADAM

From ADAM を選択すると、以下の画面が表示されます。

From ADAM To SIRCAD6 X
入力データファイル
D:¥Sample.tex
出力JOB名
Sample
出力先フォルダ
D:¥SIRCAD6¥DATA¥ 参照
 下記の設定は必要に応じてセットしてください 基礎梁の認識 ✓ 符号に"FG"が付く梁を基礎梁とする (ADAMIご付け直し符号指定がある場合のみ有効) ADAMIご付け直し符号指定がないまたはよ記設定を指定しない場合 ○ 名スパンの最下層の梁を基礎梁とする ☞ 最下層(Z=1)の梁を基礎梁とする
床組(小梁)の平行指定 ○ 全体座標系に平行 ● 配置軸(大梁)に平行 ×方向 Y方向 ● 左軸に平行 ○ 上軸に平行 ○ 右軸に平行 ● 下軸に平行
実行 閉じる

・入力データファイル:変換する"TEXファイル"を指定します。

・出力 J O B 名 : J O B 名を指定します。

・出力先フォルダ :出力先フォルダを指定します。

「参照」ボタンをクリックすると入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。

「実行」をクリックして変換を実行します。

変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

以下の画面に戻ります。

From ADAM To SIRCAD6 X
入力データファイル
D:¥Sample.tex
出力JOB名
Sample
出力先フォルダ
D:¥SIRCAD6¥DATA¥ 参照
┌ 下記の設定は必要に応じてセットしてください―――
- 基礎梁の認識
▼ 符号に"FG"が付く梁を基礎梁とする
(ADAMIC付け直し符号指定がある場合のみ有効)
ADAMに付け直し符号指定がない または 上記設定を指定しない 場合
○ 各スパンの最下層の梁を基礎梁とする
○ 最下層(Z=1)の梁を基礎梁とする
┌ 床組(小梁)の平行指定
○ 全体座標系に平行
◎ 配置軸(大梁)に平行
X方向 Y方向
● 左脚に半行 ● 上脚に半行
実行 閉じる

「閉じる」または 右上の 🗙 をクリックし、メインメニューに戻ります。

(2) BUILD.一貫 V

From BUILD.一貫 Vを選択すると、以下の画面が表示されます。

From BUILD─貫 V To SIRCAD6	×
入力データフォルダ [D¥ 出力JOB名	参照
Sample	
出力先フォルダ	
D:¥SIRCAD6¥DATA¥	参照
┌下記の設定は必要に応じてセットしてください │□ 断面登録ファイルを使用する	
断面登録ファイル保存先フォルダ	
C:¥Ksoft¥BUILD2K¥Lists¥	参照
	実行 閉じる

・入力データファイル :

(BUILD.一貫V) 変換する『build.inp』と『ik5.inp』が含まれているフォルダを指定します。※1

・出力 J O B 名 : J O B 名を指定します。

・出力先フォルダ :出力先フォルダを指定します。

断面登録ファイル : "断面登録ファイル"が保存されているフォルダを指定します。※2

「参照」ボタンをクリックすると入力データフォルダ、出力先フォルダ、断面登録ファイル保存先フォルダを参照できます。

Ж1

・指定したフォルダ内に"build.inp"が含まれていない場合、変換を行うことはできません。

・「スラブ上の雑壁」のみ、『ik5.inp』から変換します。

ж2

・一括建物データ内で"断面登録ファイル"を参照している場合は、「断面登録ファイルを使用する」にチェックを入れます。

・"断面登録ファイル"とは、BUILD.一貫 V、断面登録ファイル内の以下4つのファイルを指します。

「GME1.Lst(梁鉄骨断面)」

「GME2.Lst(梁鉄筋断面)」

「CME1.Lst(柱鉄骨断面)」

「CME2.Lst(柱鉄筋断面)」

・「断面登録ファイルを使用する」にチェックを入れた場合、指定したフォルダ内に"断面登録ファイル"4つ全てが含まれていない場合、 変換を行うことはできません。

・断面登録ファイルを使用しているデータの場合、ファイル内に適切なデータが無いとき、データ変換を中止します。

「実行」をクリックして変換を実行します。

変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

以下の画面に戻ります。

IF From BUILD─貫 V To SIRCAD6	×
入力データフォルダ D¥	参照
出力JOB名	
Sample 出力先フォルダ	
D:¥SIRCAD6¥DATA¥	参照
- 下記の設定は必要に応じてセットしてください	
断面登録ファイル保存先フォルダ	
C:¥Ksoft¥BUILD2K¥Lists¥	参照
	実行 閉じる

「閉じる」または右上の ×をクリックし、メインメニューに戻ります。

(3) BUS-6

SIRCAD Ver6 の From BUS-6 は、BUS-6 のデータベース番号によって変換に使用するファイルが異なります。 From BUS-6 を選択すると、以下の画面が表示されます。

・BUS-6 データベース番号 7.0 以上から変換する場合

From BUS-6 To SIRCAD6	×
入力データファイル	
D:¥Sample¥Sample.STB	(*****)
出力JOB名	
Sample	
出力先フォルダ	
D:¥SIRCAD6¥DATA¥	参照
	実行 閉じる

入力データファイルの「参照」を選択し、下記より変換する STB ファイルを選択します。

脂 入力データファイルの	選択							×
← → • ↑ 📘	> PC	» データHD (D:) → Sample		ٽ ~	Sampleの検索			٩
整理 ▼ 新しいフ	ォルダー							?
OneDrive	^	名前	更新日時~	種類		サイズ		
PC		Sample.STB	2020/03/31 10:08	STB 7	ァイル	1	2 KB	
A360 Drive								
🕹 ダウンロード								
🔜 デスクトップ	~							
	ファイルキ	名(N): Sample.STB		~	BUS-6出力ST	-Bridge/Bl	US-6デー	4 v
					開<(O)	4	キャンセノ	ب

・BUS-6 データベース番号 6.9 以下から変換する場合

From BUS-6 To SIRCAD6	×
入力データファイル D¥Sample¥Sample.BEE	(******
。 出力JOB名 Sample	
」 出力先フォルダ 「Diversion a Device A TAN	- 407
ID:#21RCAD6#DATA#	
	実行開じる

入力データファイルの「参照」を選択し、下記より変換する BEE ファイルを選択します。

■ 入力データファイルの選択			×	
← → → ↑ 📴 → PC → データHD (D:) → Sample	ٽ ~	Sampleの検索	م	
整理 ▼ 新しいフォルダー			• 🔳 🕐	
作業フォルダ ^ 名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
OneDrive Sample.BEE	2018/09/05 11:26	BEE ファイル	21 KB	
PC				
3Dオブジェクト				
ファイ ルーキ (IN): SampleA.BEE		BUS-6/BUS-5 7=9	vyryv(",be ∨	
		開く(<u>Q</u>)	キャンセル	

・入力データファイル :変換する"STB ファイル"もしくは"BEE ファイル"を指定します。

・出力 J O B 名 : J O B 名を指定します。

・出力先フォルダ : 出力先フォルダを指定します。

「参照」ボタンをクリックすると入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。
「実行」をクリックして変換を実行します。

変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。

From BUS-6 To SIRCAD6 X
Sample の変換が終了しました (所要時間: 0分07秒)
ОК

以下の画面に戻ります。

From BUS-6 To SIRCAD6	×
入力データファイル D¥Sample¥Sample BEE	(愛 b 祭)
出力JOB名 Sample	
出力先フォルダ D¥SIRCAD6¥DATA¥	参照
	 実行 閉じる

「閉じる」または右上の🗙をクリックし、メインメニューに戻ります。

(4) SEIN La CREA

From CREA を選択すると、以下の画面が表示されます。

From CREA To SIRCAD6	×
入力データファイル	
Ut#Sample#EpMi定義Stxt 山力ICR名	
Sample	
出力先フォルダ	
D.¥SIRCAD6¥DATA¥ 参照	Į į
│ ┌ 下記の設定は必要に応じてセットしてください――	_
▶ 下記の壁厚以下は変換しない	
壁厚 10 (mm)	
□ 下記の床厚以下は変換しない	
床厚 10 (mm)	
▼ 柱配置がグリッド点に配置されていない場合は間柱として配置する	
▼ レベル設定を行なう	
Z軸からの部材天端レベル(mm)	
大梁 🔽 🛛 小梁 💭 スラブ 🔽 🛛	
最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します(ARCHICAD連携時に有効)	-
□ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する	
階高 1000 (mm)	
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に入力値を用います	F
□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	
実行 閉じる	1

・入力データファイル :

変換する"STXTファイル"(部材定義.Stxt)を指定します。

「参照」ボタンをクリックすると、変換する STXTファイル (部材定義.Stxt)を選択することができます。

■ 入力データファイルの選	択		×
← → • ↑ 📙	> PC > データHD (D:) → Sample	✓ 己 Sampleの検索	P
整理 ▼ 新しいフォ	ルダー		?
<u>م</u> לא מער די לא די	^ 名前 [^]	更新日時 種類	ታ
Samala	部材定義.Stxt	2017/05/08 16:20 STXT ファイル	
Sample データHD (D:) デスクトップ 作業フォルダ			
OneDrive	 ✓ 		>
:	ファイル名(<u>N</u>): 部材定義.Stxt	 > SEINデータファイル(部材定義.St 開く(<u>Q)</u>キャンセ) 	d ∨ ↓

·出力JOB名 :

JOB名を指定します。入力データファイルを選択すると、自動的にSTXTファイル群の上位フォルダ名が出力JOB名となります。 ・出力先フォルダ :

出力先フォルダを指定します。「参照」ボタンをクリックすると入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。

※変換する際は、同じフォルダ内に『部材定義.Stxt』『材料定義.Stxt』『断面定義.Stxt』の3つのファイルが あることを確認してから変換してください。

・下記の壁厚以下は変換しない:

チェックを入れると、壁厚を入力できるようになります。指定した壁厚以下の壁は変換しません。

・下記の床厚以下は変換しない

チェックを入れると、床厚を入力できるようになります。指定した床厚以下の床は変換しません。 ・柱位置がグリッド点に配置されていない場合は間柱として変換する

チェックを入れないと、グリッド点以外に配置された柱を変換しません。

Х

・レベル設定を行なう

チェックを入れると、大梁、小梁、スラブを基準軸から指定した天端レベルで変換します。

※小梁、スラブは個別部材で変換され、床組として変換することはできません。

·基礎階追加設定

基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置します。

チェックを入れると、基礎階を作成して基礎と基礎スラブ(FSxx)を基礎階に変換します。

階高は基礎配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に使用し、指定した階高で基礎階を作成して変換します。

※ARCHICAD連携時に有効な設定です。

・開口を窓開口で変換する

開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行います。

チェックを入れると、一般開口を窓開口(開口定義の開口タイプt=4)で変換します。

※ARCHICAD連携時に有効な設定です。

「実行」をクリックすると、自動的に通り軸を作成し、下記のような「通り軸調整」画面が表示されます。



変換が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



変換できなかった項目がある場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージが表示されなかった場合は全ての部材が変換されています。次ページに進んでください。



^{※「}通り軸調整」画面で通り軸を編集する場合は、ユーザーズマニュアルの『データ変換編』を参照してください。

「はい」を選択すると、以下のようなエラーログが表示されます。

「いいえ」を選択した場合は、エラーログは表示されません。先へ進んでください。

From CREA To SIRCAD6	_		×
 「ジレース)ジレースの方向が両方向のためkind bracel は出力されません。(HV20) 「ジレース)ジレースの方向が両方向のためkind bracel は出力されません。(SB20n) 日配置: 行号-030 ID=104 SecID=2>>> 同ご協の同じ位置に複数の柱が配置されているため、最下位置と2番目の柱で、長い方の柱のみ配置します。この相は実換しませ 筋点 ID_1=897 ID_2447 日配置: 行号-030 ID=116 SecID=2>>> 同ご協の同じ位置に複数の柱が配置されているため、最下位置と2番目の柱で、長い方の柱のみ配置します。この相は実換しませ 筋点 ID_1=898 ID_2446 日間盤の同じ位置に複数の柱が配置されているため、最下位置と2番目の柱で、長い方の柱のみ配置します。この相は実換しませ 筋点 ID_1=898 ID_2447 日配置: 行号-030 ID=117 SecID=2>>> 同ご協の同じ位置に複数の柱が配置されているため、最下位置と2番目の柱で、長い方の柱のみ配置します。この相は実換しませ 筋点 ID_1=884 ID_2441 日配置: 行号-500 ID=118 SecID=2>>> 同ご協の同じ位置に複数の柱が配置されているため、最下位置と2番目の柱で、長い方の柱のみ配置します。この相は実換しませ 筋点 ID_1=882 ID_2440 床板定整: 行号-500 ID=155 Floor=>>> 床厚=0です。実換後、床板部材を置で施工いてくさい、 床板定整: 行号-500 ID=156 Floor=>>> 床厚=0です。実換後、床板部材を置で施工いてくさい、 特殊鋼材種: >>> SIRBIM(α) に無い鋼材種-SNR400 であるため、鋼材種-SPS1 として変換します 	±ん。(X せん。(X せん。(X せん。(X	(7, Y10, Z (7, Y16, Z (11, Y10, (11, Y10, (11, Y16, 11))	8) 3) 29) 23)

「閉じる」をクリックすると次の画面が表示されます。



ログファイルを保存する場合は「はい」、保存しない場合は「いいえ」を選択します。

From CREA To SIRCAD6 X
入力データファイル
D¥Sample¥部材定義Stxt
出力JOB名
Sample
出力先フォルダ
D:¥SIRCAD6¥DATA¥ 参照
「下記の設定は必要に応じてセットしてください――――
▶ 下記の壁厚以下は変換しない
壁厚 10 (mm)
)77/7- 1 10 (mm)
▶ 柱配置がグリッド点に配置されていない場合は間柱として配置する
▶ レベル設定を行なう
Z軸からの部材天端レベル(mm)
大梁 0 小梁 0 スラブ 0
最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します(ARCHICAD連携時に有効)
□ 基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する
階高 1000 (mm)
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に入力値を用います
□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う
実行 閉じる

「終了」または右上の ×をクリックし、メインメニューに戻ります。

(5) Super Build/SS3

From SS3 を選択すると、以下の画面が表示されます。

From SS3 To SIRCAD6	<
入力データファイル D+YSample.csv 参照	
出力JOB名	
Sample 山中生コュルダ	
DYSICCAD6¥DATA¥ 参照	1
- 下記の設定は必要に応じてセットしてください	
▶ 開口タイプ2を袖壁・腰壁・垂壁として変換する	
□ 軸組構法として変換する	
梁剛接合時の通し方向	
© X方向 C Y方向	
□ 基礎梁の二段筋を三段筋に自動で振り分ける	
(二段筋の本数が、一段筋の本数より多いときに、多い分を三段筋に振り分ける)	
✓ 差岐データを災決する 井田二、カラー (川(火の)	
DYSample.cov	
したJampier.sv 基礎の標準レベル(mm)	
-2000	
□ レベル設定を行なう	
Z軸からの部材天端レベル(mm)	
大梁 0 小梁 0 スラブ 0	
● 一括設定 C 層別設定 設定	
 「 床組の小梁・スラブを個別に変換する	
((レベル設定で層別設定した場合は個別に変換します)	
実行 開心る	T.

・入力データファイル : 変換する"CSVファイル"を指定します。

・出力 J O B 名 : J O B 名を指定します。

・出力先フォルダ :出力先フォルダを指定します。

「参照」ボタンをクリックすると入力データファイル、出力フォルダ名を参照できます。 ※基礎データを変換する場合、変換する BF1 の"CSV ファイル"を指定します。

「実行」をクリックして変換を実行します。

変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

以下の画面に戻ります。

From SS3 To SIRCAD6 X
入力データファイル
D¥Sample.csv 参照
Sample
出力先フォルダ
D:¥SIRCAD6¥DATA¥ 参照
下記の設定は必要に応じてセットしてください ▼ 片将梁配置は水平で変換する
▶ 開口タイプ2を袖壁・腰壁・垂壁として変換する
□ 軸組構法として変換する
梁剛接合時の通し方向
⑥ X方向 〇 Y方向
□ 基礎梁の二段筋を三段筋に自動で振り分ける
(二段筋の本数が、一段筋の本数より多いときに、多い分を三段筋に振り分ける)
▶ 基礎データを変換する
基礎データファイル(※SuperBuild/BF1データ)
D#Sample.csv
基礎の標準レベル(mm)
-2000
□ はかま筋をベース筋と同本数で変換する
_
□ レベル設定を行なう
Z軸からの部材天端レベル(mm)
大梁 0 小梁 0 スラブ 0
● 一括設定 C 層別設定 設定
────────────────────────────────────
((レベル設定で層別設定した場合は個別に変換します)
実行 閉じる

「閉じる」または右上の×をクリックし、メインメニューに戻ります。

(6) Super Build/SS7

From SS7 を選択すると、以下の画面が表示されます。

From SS7 To SIRCAD6	×
入力データファイル	
D:¥SIRCAD6¥Sample;Sample.cad7	参照
出力JOB名	
Sample	
出力先フォルダ	
D.¥SIRCAD6¥Sample¥Data¥	参照
下記の設定は必要に応じてセットしてください 「下記の設厚以下は変換しない 登厚 10 (mm)	
□ 下記の床厚以下は変換しない 床厚 10 (mm)	
▶ 主鉄筋のかぶり厚は変換しない	
(SIRCAD6 の標準設定のかぶり厚でモデル化されます)	
□ はかま筋をベース筋と同本数で変換する	
径 🦳 で変換する	
□ レベル設定を行なう	
Z車曲からの音時材天端レベル(mm)	
大梁 0 小梁 0 スラブ 0	
最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します(ARCHICAD連携時に有効) □ 基礎インボート#時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する	
階高 1000 (mm)	
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に入力値を用	います
□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	
□ 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する	
柱として認識する符号の顔文字(カンマ区切りで複数指定) [C.SC	
実行 閉	lia 🛛

・入力データファイル:

変換する"CAD7 ファイル"を指定します。

「参照」ボタンをクリックすると、変換する"CAD7 ファイル"を選択することができます。

■ 入力データファイルの選択			×
	ڻ ×	Sampleの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー			· 🔳 🕜
 データHD (D:) ^ 名前 ^ デスクトップ 「作菜フォルダ OneDrive PC オットワーク 	更新日時 2017/09/26 10:09	種類 CAD7 ファイル	サイズ 1,184 KB
v <			
ファイル名(N): Sample.cad7	~	SS7 CADリンクファイル 開く(<u>O</u>)	(*.cad7) 〜 キャンセル

·出力 JOB 名:

Job 名を指定します。入力データファイルを選択すると、自動的に"CAD7 ファイル"のファイル名が出力 JOB 名となります。 ・出力先フォルダ:

出力先フォルダを指定します。「参照」ボタンをクリックすると出力先フォルダを参照できます。

・下記の壁厚以下は変換しない:

チェックを入れると、壁厚を入力できるようになります。指定した壁厚以下の壁は変換しません。

・下記の床厚以下は変換しない:

チェックを入れると、床厚を入力できるようになります。指定した床厚以下の床は変換しません。

・主筋のかぶり厚は変換しない:

チェックすると、SIRCADの標準設定のかぶり厚※1でモデル化されます。

・はかま筋をベース筋と同本数で変換する:チェックすると、はかま筋径を指定してベース筋と同本数で変換します。

・レベル設定を行なう

チェックを入れると、大梁、小梁、スラブを基準軸から指定した天端レベルで変換します。

※小梁、スラブは個別部材で変換され、床組として変換することはできません

·基礎階追加設定

基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置します。

チェックを入れると、基礎階を作成して基礎と基礎スラブ(FSxx)を基礎階に変換します。

階高は基礎配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に使用し、指定した階高で基礎階を作成して変換します。

※ARCHICAD連携時に有効な設定です。

・開口を窓開口で変換する

開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行います。

チェックを入れると、一般開口を窓開口(開口定義の開口タイプt=4)で変換します。

※ARCHICAD 連携時に有効な設定です。

・梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する

チェックを入れると、梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定して変換します。

※SIRCADでは途中に柱がある場合、計算ソフトで一本部材指定があってもそこで梁が切れます。

「実行」ボタンで変換を開始します。

Ж1

『SIRCAD』の標準設定のかぶり厚は、下記の画面で確認できます。

「入力」タブ→「設計条件(コンクリート・鉄筋・鋼材など)」→「建物標準設定」をクリックします。

「鉄筋かぶり厚」タブで、予め指定したかぶり厚で変換します。



変換が終了すると、以下のメッセージが表示されます。

From SS7 To SIRCAD6 X]
Sample の変換が終了しました (所要時間: 0分10秒)	
K	

「OK」ボタンをクリックします。

変換できなかった項目がある場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージが表示されなかった場合は全ての部材が変換されています。次ページに進んでください。



「はい」を選択すると、以下のようなエラーログが表示されます。 「いいえ」を選択した場合は、エラーログは表示されません。次ページへ進んでください。

From SS7 To SIRCAD6 –	\times
柱配置 : 符号=C1 >>> 柱頭または柱脚が、 ON_GRIDですが、 上下で異なるGRID位置であるため、 柱脚位置に配置し キオ	^
ま 9 節点座標 1 Wx= 3000.0 Wy= 3000.0 Wz= 5000.0 2 Wx= 3000.0 Wy= 3000.0 Wz= 7500.0 通り座標 1 Jx= 2 Jy= 2 Jz= 3	
2 Jx= 2 Jy= 2 Jz= 4 柱配置: 符号=C2 >>> 柱頭または柱脚が、ON_GRIDですが、上下で異なるGRID位置であるため、柱脚位置に配置し ます 節点 座標	~

「閉じる」をクリックすると次の画面が表示されます。



ログファイルを保存する場合は「はい」、保存しない場合は「いいえ」を選択します。

以下の画面に戻ります。

👫 From SS7 To SIRCAD6 X
入力データファイル D¥STBCAD6¥Sample¥Sample cad7 参照
Sample
出力先フォルダ
D¥SIRCAD6¥Sample¥Data¥ 参照
下記の設定は必要に応じてセットしてください 下記の壁厚以下は変換しない 健厚 10 (mm)
「 下記の床厚以下15変換しない 床厚 10 (mm)
▶ 主鉄筋のかぶり厚は変換しない
(SIRCAD6の標準設定のかぶり厚でモデル化されます)
「はかま筋をベース筋と同本数で変換する」
径 ▲ で変換する
□ レベル設定を行なう
Z軸からの部材天端レベル(mm)
大梁 0 小梁 0 スラブ 0
最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します(ARCHICAD連携時に有効)
□ 基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する
階高 1000 (mm)
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に入力値を用います
□ 開□定義の一般開□を窓開□で部材登録を行う
□ 梁の一本部材料定で柱として認識する符号の頭文字を指定する 柱として認識する符号の頭文字(カンマ区切りで視動指定) [0.50
実行 閉じる

「閉じる」ボタン、または右上の × をクリックし画面を閉じます。

5 3D表示で視覚的に建物データを確認する

『SIRCAD』の3次元表示機能について説明します。

『SIRCAD』データを XVL ファイルに出力し、3 次元表示で視覚的に建物データを確認することができます。

XVL ファイル出力の機能は作図と設計数量算出の機能とは別の機能です。 作図と設計数量算出を行う場合は、作図と設計数量算出の項目に進んでください。

XVL ファイルに変換するには、あらかじめ XVLPlayer をインストールする必要があります。 インストールに関しては、ユーザーズマニュアルの『インストール編』を参照してください。

3DeyeでXVLファイルに変換する

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [確認(入力チェック、3D 表示など)]を 選択します。
- 3. [3D 表示]を選択します。
- 4. 「XVL」を選択します。







『SIRCAD』で基礎を追加すると基礎も表示されます。

6 定義と配置を追加する

構造計算データにない基礎や小梁の鉄筋など、作図・設計数量算出に必要なデータを定義と配置に追加します。

ここでは基礎定義の追加・配置と小梁定義に鉄筋情報の追加をする方法を説明します。

配置の基本操作

配置の基本的操作について説明します。

配置範囲指定の方法

部材の具体的な配置方法を、柱などの点部材、梁などの線部材、床組などの面部材、雑壁などの特殊部材に分けて説明します。 範囲指定は、始点、終点で2回クリックします。範囲指定しない場合は、同じ場所を2回クリックして下さい。

1) 点部材

以下の場合に用いられます。

- ・伏図形式配置時の柱
- ・軸組図配置時の直行梁
- ・基礎
- ・基礎柱
- ・根巻

・ベースプレート(レベルのみ)

範囲配置方法



×(通り軸交点)を始点、終点とマウスでクリックすると、始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。(下図参照)



2) 線部材

以下の場合に用いられます。

- ・伏図形式配置時の梁
- ・伏図形式配置時のブレース
- ・軸組図形式配置時の梁
- ・軸組図形式配置時の柱
- ・壁、開口
- ・軸組図形式配置時の床

範囲配置方法



×(通り軸上のスパン中央部)を始点、終点とマウスでクリックすると、始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。 (下図参照)

v 9	G1	G1	
YI	G1	ଗ	
 	, x	2 *	3

3) 面部材

以下の場合に用いられます。

- ・伏図形式配置時の床
- ・軸組図形式配置時の壁、開口
- ・軸組図形式配置時のブレース

範囲配置方法



×(各スパン中央部)を始点、終点とマウスでクリックすると、始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。 (下図参照)

Y2			
	sı _{YI}	sı _{vi}	
	B1	B1	
	SI	SI	
м х	n x	2 X	3

4) 特殊な部材

以下の場合に用いられます。

・雑壁

始点、終点の配置する XY 通り軸名、その交点からの座標を入力します。

・間柱

配置する XY 通り軸名、その交点からの座標を入力します。

配置画面の説明

配置画面には、柱や梁などの部材を配置する部材配置画面と配置した部材の詳細を確認および修正が行える 詳細設定画面があります。

<部材配置>

[部材配置]タブを選択すると表示されます。



<詳細設定画面>

[詳細設定]タブを選択すると表示されます。



基礎定義を追加する

1. [入力]タブを選択します。

2. [部材定義(基礎、柱など)]→[基礎定義]をクリックし、[基礎定義]を選択します。



定義を追加し終わったら、「基礎定義」画面を閉じて保存します。

基礎を配置する

追加した基礎を配置する方法を説明します。



基礎定義を追加するとチェックマーク 🔂 がつきます。 (入力済みの部材については、このようにチェックマークがつきます。) 配置画面で基礎を配置していきます。

ここでは「伏図形式配置」で配置する方法を説明します。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [配置(基礎、柱など)]→[伏図形式配置]を選択します。



3. [Z フレーム配置軸の選択]画面で、配置する層を選択します。



4. 確認メッセージが出たら、「はい」ボタンをクリックします。

Zフレーム 配置軸の選択 [Sample1]	×
記置する層は、21 でよろしいですか?	
【はいの】 いいえ(N)	



5. Z1の見下げ配置画面が表示されます。

6. 配置画面右側のツリーメニューから、「基礎」→「基礎配置」を選択します。



定義済みの基礎符号一覧が表示されます。
 配置する基礎符号を選択します。



8. 基礎を配置する範囲を、マウス指定、または、キーボードで数値入力します。

F1の基礎を配置する範囲は?	N 🗆	Y] - 🕅	Y[]
----------------	-----	---	-------	----	---

マウス指定の例:

通り軸の"交点"をマウスでクリックします。(範囲指定しない場合は同じ場所を2回クリックします。)



9. 範囲指定をすると次の画面が表示されます。回転角度をマウスでクリックします。



以下のように基礎が配置されます。



配置層を変更する

配置する層を変更する方法を説明します。

プルダウンより確認する層を選択します。



配置データを変更後に層を変更すると、以下のメッセージが表示されます。



選択肢を選びます。

「はい(Y)」・・・部材配置情報を保存し、選択した層に移動します。

「いいえ(N)」・・・部材配置情報を保存せず、選択した層に移動します。

「キャンセル」・・・他層には移らず、現在表示している部材配置画面に戻ります。

部材の詳細設定を行う

個別に各部材情報の確認および設定内容の修正を行います。

- 1. 「詳細設定」タブを選択します。
- 2. 一覧より部材を選択します。
- 詳細確認する部材をクリックします。
 ※[Shift]キーを押しながら選択することで、複数部材の選択が可能です。
- 4. 部材を選択するとプロパティが表示されます。



5. プロパティの値を修正します。

※複数部材を選択した場合、値の異なる項目はブランクで表示されます。

6. 変更後、プロパティの OK をクリックして確定します。

小梁定義に鉄筋情報を追加する

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [部材定義(基礎、柱など)]→[小梁定義]をクリックし、[RC 小梁定義]を選択します。



- 変換直後、小梁の鉄筋情報がない場合、別画面で表示される「ワンポイントヘルプ」を参照しながら入力します。 カーソルのあるセル毎に「ワンポイントヘルプ」の内容が変わります。
- 4. 定義を追加し終わったら、「RC小梁定義」画面を閉じて保存します。

7 配置データを編集する

必要に応じて配置の修正を行います。 ここでは梁の寄り設定と雑壁の配置方法について説明します。

梁の寄りを設定する

「伏図形式配置」で設定する方法を説明します。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [配置(基礎、柱など)]→[伏図形式配置]を選択します。
- 3. [Z フレーム配置軸の選択]画面で、配置する層を選択します。
- 4. 「部材配置」タブを選択します。
- 5. 右側の配置メニューから「梁」を選択し、「RC 梁寄り」を選択します。



6. 寄りを変更する範囲をキーボードからの入力、またはマウスで指定します

- RC梁	い寄りる	変更す	る範囲に	t?[YI 通J	ljs 🗋	1]-	[]]通	眇S β]
M_	01	G2		C2	G2		02	G2	C	СЗ
	1								 ×	4

7. 梁寄りを変更する範囲を指定すると、以下の画面が表示されます。

RC梁寄り - 寄り寸 ⓒ Center ○ Face ▼ S梁	法 MM OK キャンセル 連結 C フカシ考慮
選択位置値をセット	直前入力値をセット
配置[Z2,(X1,Y1)-(X2, 寄り[C+0]	Y1)]

8. 寄り寸法を入力します。

n

хI

Y1 -

П-

хŻ

キーボード入力、または、配置画面の配置部材線分をマウスでクリックし、寄り寸法を自動入力します。 Face/Centerは、それぞれ通り軸と部材の位置関係を、「面押え」または「部材芯」とするかの選択です。

〔S梁連結〕 ▼ を にすると RC 部材と S 部材の位置関係を保ちながら寄せます。



Π-

хà

 $\times 4$

雑壁を配置する

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [配置(基礎、柱など)]→[伏図形式配置]を選択します。
- 3. [Z フレーム配置軸の選択]画面で、配置する層を選択します。
- 4. 「部材配置」タブを選択します。
- 5. 右側の配置メニューから「壁」を選択し、「壁配置」を選択します。



定義済みの壁符号一覧が表示されます。 「雑壁」タブを選択し、配置する壁符号を選択します。



7. 雑壁を配置する範囲をキーボードからの入力、またはマウスで指定します。

マウスで指定する場合:



以下のように雑壁が配置されます。



8 図面を作成する

『SIRCAD』で作成できる図面は以下の通りです。1枚の用紙に自由な組み合わせで図面をレイアウトできます。



自動作図の基本操作

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [作図]→[自動作図]を選択します。
- 3. [自動作図]を選択します。



4. 「新規作成」ボタンをクリックします。

6 自動作図 [[Sample1]			
四月 一招	HAX .			
自動作図 図面生成 ブレビュー 新規作成				
Copy		ר ר	ר ר	ר ר
Delete	AO=: 840×594	AO=: 840×594	AO∃⊐:840×594	AO=: 840×594
図面情報	No.5 KAKO-2	No.6 KISO-LIS		
		الم معني معني معني معني معني معني معني معن		

5. ファイル名(図面の名称)を半角8文字以内で入力します。

自動作図 [Sample1]	×
№71に図面を追加します。 新規のファイル名を半角8文字以内で入力してください。	ОК ++>セル
Sample	

6. 用紙サイズを指定して、「OK」をクリックします。



7. レイアウト画面が表示されます。

画面上部にはツールバーが表示されています。 アイコンをマウスでポイントするとコマンド名が表示されます。

用紙上で右クリックをするとメニューが表示されます。

メニュー内のコマンドはツールバーにあるコマンドと同じです。



柱リストを作図する

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [作図]→[自動作図]を選択します。
- 3. [自動作図]を選択します。
- 4. 「新規作成」ボタンをクリックし、レイアウト画面を表示します。
- 5. 図面上で右クリックしてメニューを表示します。[オブジェクト作成]→[図面挿入]を選択します。 または、上部ツールバーの <a>[図面挿入]をクリックします。

■ 自動作図 [Sample:No.5 Sample]	_		×
B B B B B B B B B B B B B B B B B B B			
回面挿入			
直面管理 > 画面操作 >			
ものり取なり コピー			
N59付け 削除			
オブジェクト作成 図面挿入			
オブジェクト操作 > 外部グループ挿入			
グループ シ 線			
リファレンス 円			
田紙設定 多角形 座標管理 > 引出線			
データ保存 文字 ハッチング ハッチング			
		····÷	

6. 挿入図面種類選択画面で、自動作図する図面を選択します。 ここでは柱断面リストを作図します。

断面リストから「柱」をダブルクリックで選択します。



7. 挿入図面詳細設定画面が表示されます。

出力範囲や層範囲、縮尺等を設定し、「OK」をクリックします。

🎼 挿入図面詳細設定 [Sample1]	Х
図面番号: 1 Job名: Sample1 図面種類: No.210 柱	
図面設定 出力範囲: N <mark>1 : C1 ▼</mark> - 3 : C3 ▼ Z SNo 1 - 3 図面分小 : 柱リスト 縮 尺: 1 / 30	
- 寸法設定(実寸) 予備枠数: 0 横方向:項目欄 20 あき左 10 あき中 13 あき右 6 縦方向:符号欄 15 位置欄 8 あき上 10 あき下 5 文字枠 6 □ 横幅で書込み寸法を利用 [大きさ 500 mm 以上は 300 mm を 700 mm とす □ 縦成で書込み寸法を利用 [大きさ 500 mm 以上は 300 mm を 700 mm とす 枠の統一: □ (横幅)梁→断面の数を合わせる □ (縦成)書込みを寸法を使う場合	ත] ත]
描画設定 自動作図: ○ 図面オブジェクトとして生成 ○ 文字を分解して生成 (寸法値は除く) 線分処理: ☞ 一本化する OK 特別	

図面挿入位置をキーボードから入力または、マウスで指定します。
 断面リストの場合、図面左上が図面の原点になっています。マウスが押さえている点が原点です。
 マウスで指定する場合は、用紙の適当な位置でクリックします。

	■Line 自動作回 [Sample 1:No.7 Sample]	-	×
込ま下○□○▲▲図 四世園 白点 FFICAGFを図れ ■ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	000000000000000000000000000000000000000		
図面挿入位置 -原点 左上位置 × Y 410.0 mm -オフセット フクセット × 0.0 mm 挿入 キャンセル	III AND IN A NO IN A NO IN A A NO IN A BE		
	図画挿入位置 原点 左上位置 × 1000 mm イブセット 「オフセット × 000 mm 挿入 キャンセル		÷

9. 以下のように柱断面リストが自動作図されます。

■Li 自動作図 [Sample t:No.7 Sample]	-		×
図면 [] ≥ 2% 囲気:20目 * 93 24 2			
I TRANST RADIA RADIA RADIA RADIA			
	リッド「ス	ナップ	

王 [[拡大]等をして確認します。



軸組図を作図する

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [作図]→[自動作図]を選択します。
- 3. [自動作図]を選択します。
- 4. 「新規作成」ボタンをクリックし、レイアウト画面を表示します。
- 5. 図面上で右クリックしてメニューを表示します。[オブジェクト作成]→[図面挿入]を選択します。 または、上部ツールバーの <a>[図面挿入]をクリックします。
- 挿入図面種類選択画面で、自動作図する図面を選択します。
 ここでは軸組図を作図します。
 [軸組]から「軸組図」をダブルクリックで選択します。
- 7. 挿入図面詳細設定画面が表示されます。

[From CREA]や[From SS7]、[From ST-Bridge]でインポートされた梁・壁・ブレースは、個別配置されていて、 通り軸上に配置された「軸上部材]とならない場合があります。

そのため、軸組図上にそれらの部材を表示する場合は、距離(mm)を入力する必要があります。



通常、X1 の立面図の場合、X1 から ①1000mm 右を切断し、②1000mm左側の奥行 まで見て作図します。 図面レイアウト後に変更したい場合は、配置した断面図を選択し、右クリック→「リファレンス」選択で修正可能です。

8. 立面図切断面の設定

通り軸が平面傾斜している場合、「構造図」タブ→「作図条件」→「立面図切断面」→「絶対座標に平行に切断」を ON/OFF/Part 指定することで、作図範囲を変更することができます。

<例>下図のように、X1 通り軸に平面傾斜がある場合



※挿入図面詳細設定と8.立面図切断面設定を組み合わせることで、軸組図の描画範囲を設定することができます。
作図設定の変更方法

図面をカスタマイズするには作図設定/作図条件にて設定をします。 各種設定を変更した後、作図ファイルを再作図し、変更した設定を図面に反映させます。

<作図設定>

[構造図]タブを選択します。 1. 2. [作図設定]を選択します。 💦 SIRCAD Ver.6 [Sample1] 🛛 — \times JOB 選択(F) 作図(D) 作図設定(S) Ŧ 入力 構造図 数量 ▣--澶 JOB選択 🖕 📂 作図 □ <u>
文字リスト</u>表作成 ▲ 作図設定
● 作図設定
● 通り翻表示の設定 [作図設定]を選択 Ė 🗋 通り軸省略の設定 --] 基礎伏図寸法 …]] 杭伏図寸法 …]] 伏図形式柱リスト寸法 - 🗋 アンカープラン寸法 部材Max値(構)の変更 部材Max値(縦)の変更 …]] リスト用梁スラブ設定 …] 架構詳細図の設定 …] 文字リスト枠幅の設定 - 🗋 図面レイアウト初期値の設定 🗈 🚞 作図条件 🗄 🛅 出力 D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB

<作図条件>

1.	[構造図]タブを選択します。	
2.	[作図条件]を選択します。	
👔 SIR	CAD Ver.6 [Sample1] —	×
1 O E	B 選択(<u>E)</u> 作図(<u>D</u>)作図設定(<u>S</u>)	Ŧ
እታ	構造図 数量	
.	JOB選択	
÷	作図	
		「作図冬件1を選択
IT] 共通事項	
Đ.	🫅 伏図関係	
	■ 軸組図関係	
÷.	□□ 断面リスト基本設定	
±.	·//	
	- ◎ 鉄筋マークの設定	
	- 🕅 鉄骨鋼材マークの設定	
	→◎ 補助線の描画タイプの設定	
⊕ … <u>⊘</u>	н Л	
📑 D:	¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB	.::

作図設定・作図条件の設定はシステムデフォルト値に設定できます。

(一部システム設定にできない項目もあります。)

例:	[作図条件]]→[断面リス	▶基本設定1-	√柱	基本設定]
----	--------	---------	---------	----	-------



変更の手順

例を挙げて説明します。



ここでは以下の変更をします。

①項目名称の変更:帯筋→[フープ]、接合部帯筋→[梁中フープ]に変更する
 ②表示位置の移動:[梁中フープ]を断面欄の上に移動する
 ③鉄骨欄を非表示にする
 ④[フープ]の表示形式を変更する
 ⑤鉄筋マークを変更する

この他にも文字サイズ、フォントの設定、梁端部名称など様々な変更ができます。

① 項目名称の変更:帯筋→[フープ]、接合部帯筋→[梁中フープ]に変更する

SIRCAD Ver.6 [Sample1] - X	iii 柱リスト詳細設定 [Sample1]	×
	枠設定 寸法設定 項目名称設定 項目表示設定 鉄筋設定	システムデフォルト値として登録
JOB 選択(E) 作图(D) 作图設定(S) ;	階表示欄 15	
入力 構造図 数量	S文字表示 Type1 柱断面リスト作図条件の 階表示欄=On の場合	の階欄の枠幅設定
	S文字XY枠 7 mm	
	断面まとめ時あき 5 mm ドロまとめ時あき 5 mm ドロード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
●		
📄 🦢 作図条件		
□…□□ 伏図関係	項目	
● 🧰 軸組図関係		
● 📴 断面リスト基本設定		
□		
2011日1日1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		
	項目	
	PS 18 - 41 E 104	
	<u></u>	
」 鉄骨フランジ・ウェフ厚の表示設定		
🔟 補助線の描画タイプの設定		
D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB	:	

[作図条件]→[断面リスト詳細設定]→[柱リスト詳細設定]を選択します。

「項目名設定」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。



「帯筋欄」の"帯筋"→"フープ"に変更し、[Enter]キーで確定します。 同じ手順で「接合部帯筋欄」の"接合部帯筋"→"梁中フープ"に変更します。 ② 表示位置の移動:梁中フープを断面欄の上に移動する

「項目表示設定」のタブを選択すると、以下の画面が表示されます。

接合部帯筋欄(項目名称を変更しても設定画面の欄名は変更されません)を選択し、上へ移動をクリックします。 断面欄の上まで移動します。



3 鉄骨欄を非表示にする

「項目表示設定」のタブを選択すると、以下の画面が表示されます。

鉄骨欄を選択し、ダブルクリックして表示形式を OFF または Part に変更します。 ダブルクリックすると、ON→OFF→Partと表示設定が変更されます。 Part に設定すると内容がある場合のみ表示することができます。



全 JOB 共通設定にする場合は、「システムデフォルト値として登録」をクリックして、システム設定とします。 選択している JOB に対しての設定にするには設定画面を閉じて保存します。

④ フープの表示形式を変更する

[作図条件]→[せん断補強筋の表示設定]を選択すると、以下の画面が表示されます。



画面右側に「フープ&スタラップ形式」一覧があります。 「フープ形式」に変更する形式番号を入力します。

画面を閉じて保存します。

5 鉄筋マークを変更する

[作図条件]→[鉄筋マークの設定]を選択すると、以下の画面が表示されます。

📑 SIR	CAD Ver.6	Sample1]	_		×
101	B _{選択(E)}	作図(<u>D</u>)	作図設定	E(<u>S</u>)	÷
እታ	構造図	数量			
	JOB 作作作作 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	R 項 環 係 係 係 係 体 本 設 設 表 デ か か で 一 かの の 前 術 い 強 、 、 本 細 い き 、 か い で 、 か い で 、 か い で 、 い で 、 い で 、 い で 、 い で 、 い で 、 い で 、 い で 、 の で し で い の の の の の の の の の の の の の	示設定 示設 定 示設 での設定 の設定	定 [
📑 D:	¥SIRCAD	5¥DATA¥Sa	mple1.SI	RB	:

💦 鉄筋マークの設定 - ファイル選択	\times				
 Tekkin1 標準鉄筋マークテーブル(営繕協会) 	終了				
C Tekkin2					
C Tekkin3	複写				
	削除				
C Tekkin5					
C Tekkin6					
○ Tekkin7 学会用鉄筋マークテーブル]				
○ Tekkin8 公団用鉄筋マークテーブル					
C Tekking 東京都財務局用鉄筋マークテーブル					
 リスト図用鉄筋符号設定					

あらかじめ4種類のテーブルを用意しました。9種類までテーブルを登録することができます。 新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「複写」してテーブルの内容を編集します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを ・で指定します。 テーブルを削除することもできます。 ■ 鉄筋マークの設定 [標準鉄筋マークテーブル(営繕協会)] × 鉄筋径 10 mm 13 mm 16 mm 19 mm 22 mm 25 mm 29 mm 32 mm 35 mm 38 mm 41 mm $\varnothing \Delta$ \bigcirc X|X|Øマーク |X| \bigotimes • ((\bullet) -)
 29
 9
 26

 1.2
 1.2
 1.2

 0.8
 0.3
 0.6

 0.0
 0.0
 0.0

 番号
 1
 2
 3
 25
 5
 6

 寸法A:外側サイズ mm
 0.6
 1.2
 1.2
 1.0
 1.2
 1.2
 0.3 寸法B:内側サイズ mm 寸法C:移動距離 mm 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 塗り潰し円数 8 8 8 剪断補強筋に外側マーク 剪断補強筋に内 を合わせる を合わせる マーク 初期化 マークテーブルー 設定ブレタ No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8 No.9 No.10 鉄筋径 mm]
 · ×
 ○
 •
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○ А No.21 No.22 No.23 No.24 No.25 No.26 No.27 No.28 No.29 No.30 ← + + + △ M Ø Ø Ø Ø Ø No.31 No.32 No.33 No.34 No.35 No.36 No.37 No.38 No.39 No.40 ▶ ♦ ♦ Ø Ø Ø Ø ⊗ 0 + No.41 No.42 No.43 No.44 No.45 No.46 No.47 C $\Theta \oplus \oplus / \setminus \emptyset \not$

"標準鉄筋マークテーブル"を編集する場合は、 Tekkin1 をクリックして鉄筋マークテーブルを開きます。

鉄筋マークを変更する場合は、変更する鉄筋マークを下段の「マークテーブル」から選択し、 上段の「マーク」へドラッグ&ドロップして変更します。必要に応じて「寸法」等を変更します。

画面を閉じて保存します。

変更点を作図に反映させるには

変更した箇所を作図に反映させるには、図面生成する必要があります。

建物概要・部材定義・配置変更点を作図に反映するときも、同じように図面生成をする必要があります。

6 自動作図 [Sample1] ▶●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●					
図面生成	No.1 SampleA				
プレビュー					
新規作成					
Сору					
Rename					
Delete	ר				
図面情報	AO=: 840×594				

反映させる作図ファイルを選択し、 図面生成 をクリックします。

作図ファイルが複数枚ある場合は、 15 で一括して図面生成を行います。

以下のように変更点が反映されます。



9 図面を印刷する

印刷する

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [出力]を選択します。
- 3. [プリンタ/プロッター出力]を選択します。

JOB選択(E) 作図(D) 作図設定(S) 入力 構造図 数量		
一 ⑦ ブリンタ/ブロッター出力 ① ① ① 〇 ブリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力 ① 〇 アリンタ/ブロッター出力	[プリンタ/プロッター出力]を選択	7

以下の画面が表示されます。

■ プロッター出力] [Sample1]		\times
-出力先 で ラリンタノ	2 <u>거다) 경</u> C PDF	ファイル	出力(P) 終了(Q)
ーブリンタ/ブロ: RICOH SP	ッタ出力デバイス ——— C750 JPN RPCS	7°ロハ°ティ	作図ファイル指定
用紙サイス 給紙の方法	、:A4 (210 x 297 mm)(; 、:自動トレイ選択	横)	出力レイヤー指定
自動縮尺	「カラー設定」	- 線幅設定	
C On	 ・ 黒ペン出力 ・ 配置画面指定色 	₩ 線: 0.05 _{mm}	
€ Off	0 レイヤー指定色	標準線: 0.15 mm 太 線: 0.25 mm	

作図ファイル指定を選択します。

脂 作図ファイル指定			_		×
指定(L) 解除(R)	全解除 指定終了	指定中	P止	
FUSE-1	JIKU-1	KAKO-1	KISO-L	IS SI	
Sample	Sample1	SampleA			
					•

出力する作図ファイルを選択し、「指定終了」をクリックします。 ファイルを指定したら、 出力(P) で出力します。

10 2DCADに変換する

『SIRCAD』で作成した図面をさらに汎用 2DCAD で、追加・編集を行う場合、CAD 変換をします。

CAD 変換の準備としてレイヤー設定を行います。

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [出力]を選択します。
- 3. [レイヤー設定]を選択します。



以下の画面が表示されます。

💦 レイヤーテーブルのファイル選択	\times
・ ITAYER 標準レイヤーテーブル	終了
C LAYER2	
C LAYER3	複写
C LAYER4	削除
C LAYER5	
○ LAYER7 AutoCAD用レイヤーテーブル	
O LAYER8 DRA-CAD用レイヤーテーブル	
C LAYER9 Jw_cad用レイヤーテーブル	

あらかじめ4種類のテーブルを用意しました。9種類までテーブルを登録することができます。 新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「複写」してテーブルの内容を編集します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを ・で指定します。 テーブルを削除することもできます。



必要に応じてレイヤー設定を変更します。

AutoCAD(dxfファイル)に変換する

AutoCAD (dxf ファイル) に変換する方法を説明します。

16 I	レイヤーテーブ	ルのファイル選択	×
0	LAYER1	↓標準レイヤーテーブル	終了
0	LAYER2		
0	LAYER3		複写
0	LAYER4		削除
0	LAYER5		
C.	LAYER6		
œ	LAYER7	AutoCAD用レイヤーテーブル	
0	LAYER8	DRA-CAD用レイヤーテーブル	
0	LAYER9	Jw_cad用レイヤーテーブル	1

使用するテーブルを 💽 で指定します。

LAYER7 を選択します。

■ レイヤー [AutoCAD用レ	イヤーテーブル]					×
図面部位	作図データ種別	属性	レイヤー名	線種	色	 ≜
④ 図面情報	通り軸線	線	1	5	7	
○ 基礎	通り名称	文字	2	1	7	
○ 基礎柱	タイトル	文字	2	1	7	
 ○ 根巻き 	寸法線(丸を含む)	線	2	1	7	
O RC框	寸法値	文字	2	1	7	
O RC¥	作図される補助線(丸を含む)	線	2	1	7	
	作図される補助線上の寸法	文字	2	1	7	
	(作図されない補助線(丸を含む)	線	2	1	7	
0,000	作図されない補助線上の寸法	文字	2	1	7	-
0.01E 0.020						لنا
0.3未 0.8小漆						
0 71-7						
ロベースブレート						
○ 維手						
C (±D						
○ 躯体図記号						
○ リスト共通						
○ 基礎リスト						
○ 柱リスト						
○ 梁リスト	ヘルプをAuto	CAD用	1に切り替え			
○ 壁リスト						
○ 杭リスト						
○ ブレースリスト	~/lJ		,			
○ 柱維手リスト	印刷用 AutoCAD用 DRACADF	Ħ J₩_C≁	AD用			
○ 梁維手リスト	線種 1:実線 2:点線 3:一点鎖紙	泉 4:二点	5:通り軸線			
0 ワーク	色 1:赤 2:黄 3:緑 4:	水 5:1	₩ 6:紫 0,7:6	3		

必要に応じてレイヤー設定を変更します。

画面を閉じて保存します。

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [CAD 変換]を選択します。
- 3. AutoCAD 変換[オートデスク]を選択します。



出力パス等の設定をします。

作図ファイル指定

で CAD 変換する作図ファイルを選択します。

変換(<u>H</u>)

をクリックして変換します。

DRACAD Win (mpxファイル) に変換する

DRACAD Win (mpx ファイル) に変換する方法を説明します。

16 V	ィヤーテーブ	ルのファイル選択	×
0	LAYER1	標準レイヤーテーブル	終了
0	LAYER2		
0	LAYER3		複写
0	LAYER4		削除
0	LAYER5		
0	LAYER6		
0	LAYER7	AutoCAD用レイヤーテーブル	
œ	LAYER8	DRA-CAD用レイヤーテーブル	
0	LAYER9	Jw_cad用レイヤーテーブル]

使用するテーブルを 💽 で指定します。

LAYER8 を	選択します。					
■ レイヤー [DRA-CAD用レ	イヤーテーブル]					×
図面部位	作図デーク種別	属性	レイヤータ	線種	白白	T.a.I.
 図面情報 	通り軸線	線	1	3	0	н
○ 基礎	通り名称	文字	1	3	0	
○ 基礎柱	タイトル	文字	1	3	0	
○ 根巻き		線	1	3	0	
C RC柱	寸法値	文字	1	3	0	
	作図される補助線(丸を含む)	線	1	3	0	
	作図される補助線上の寸法	文字	1	3	0	
O RU壁 C フローブ	作図されない補助線(丸を含む)	線	1	3	0	
	作図されない補助線上の寸法		1	3	0	
U S1±	THE CTOOL HUMBLED THE			,		
0 維手						
C (±⊓						
○ 躯体図記号						
○ リスト共通						
○ 基礎リスト						
○ 柱リスト						٦
○ 梁リスト		ルプをDE		JDト林	17	
○ 壁リスト					λ.	
○ 杭リスト	- ^ II - T	7	_			
○ ブレースリスト			n m l			
○ 柱維手リスト		D用 JW_CA	AU用			
○ 梁維手リスト	線種 1:細線(ペ)番号1)。 2:太	線(ペ)番号2) 3:標準(^°)番	묵3∼)	~	
0 ワーク	巴 0:羔 1:音 2:亦	a: _# , 4:10	家 5:水 6:重	<i>/</i> :	н	

必要に応じてレイヤー設定を変更します。 画面を閉じて保存します。

- 1. [構造図]タブを選択します。
- 2. [CAD 変換]を選択します。
- 3. DRACAD for Windows 変換[構造システム] を選択します。



出力パス等の設定をします。

 作図ファイル指定
 で CAD 変換する作図ファイルを選択します。

 変換(出)
 をクリックして変換します。

jw_cad (jwcファイル) に変換する

jw_cad(jwc ファイル)に変換する方法を説明します。

16 l	ノイヤーテーブ	ルのファイル選択	×
0	LAYER1	標準レイヤーテーブル	終了
0	LAYER2		
0	LAYER3		複写
0	LAYER4		削除
0	LAYER5		
0	LAYER6		
0	LAYER7	AutoCAD用レイヤーテーブル	
•	LAYER8	DRA-CAD用レイヤーテーブル	
e	LAYER9	」 Jw_cad用レイヤーテーブル	

使用するテーブルを 💽 で指定します。

LAYER9 を選択します。

🎼 レイヤー [Jw_cad用レイヤ	ァーテーブル]					×	1
	作図データ種別	属性	レイヤー名	線種	色	^	
(● 区面)情報	通り軸線	線	0:0	3	0		
C 基礎	通り名称	文字	0:0	3	0		
○ 基曜柱	タイトル	文字	0:0	3	0		
 ○ 根巻さ ○ R ® ÷ 	寸法線(丸を含む)	線	0:0	3	0		
C RCHE	寸法値	文字	0:0	3	0		
	作図される補助線(丸を含む)	線	0:0	3	0		
	作図される補助線上の寸法	文字	0:0	3	0		
	作図されない補助線(丸を含む)	線	0:0	3	Û		
	作図されたし補助線上の寸注		0.0	3	0		
0.51±	THESE TO BE THE BOOKLESS THE	~ 1	0.0	·	·	× 1	
来る 〇							
していま							
し 休子							
0 mF							
 ELL ELL 							
0 支払け 六週							
0 空曜ワスト	г				_	_	
○ 11 ジスト			プをコい//^/	٦Ħ	1.1	-TIP	つ麸ラ
		·			IC C	. ر <i>د</i>	
	-	7					
	-~117						
○ 柱継手リフト			NOFFI				
○ 沙維毛ロフト		1 30001	10/13				
	線種 1:細線(ヘ*)番号1) 2:太線	へ ^の)番号2) 3:標準(ペン番号	3~)	-M.P		
	E 0:ENO2 1:ENO6 2:ENO5 3:1	±1000 4:E	2N03 0:EN01 6:EN0	4 /:1	BN02		

必要に応じてレイヤー設定を変更します。 画面を閉じて保存します。

- [構造図]を選択します。 1.
- 2. [CAD 変換]を選択します。
- 3. Jw_cad 変換[freesoft] を選択します。

SIRCAD Ver.6 [Sample1] - × J O B 選択(F) 作回(D) 作回設定(S) 作回条件(1) • 入力 構造回 数量 • • • ● J O B 選択 • • • • • ● J O B 選択 • • • • • • • ● J O B 選択 • ● •				
J O B 選択(F) 作図(D) 作図設定(S) 作図条件(1) 入力 構造図 数量 ● J O B 選択 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● 作図条件 ● ひ レイヤー設定 ● ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ ひ 女換 ● ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ ひ	SIRCAD Ver.6 [Sample1]	_		×
入力 構造図 数量 ● 」 O B 選択 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● 作図 ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ● ●	JO <u>B選択(F)</u> 作図(<u>D</u>)作図設定(<u>S</u>)	作図条件(]	!)	Ŧ
	入力 構造図 数量			
	□] O B 選択			
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
〇 レイヤー設定 〇 ガンタ/ブロッター出力 〇 本 ひを換 〇 A D 変換 〇 AutoCAD 変換 [オートデネワ] 〇 DRA_CAD for Windows 変換 [構造シネテム] 〇 jw_cad 変換 [free soft] 〇 D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB .::	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
C A D 変換 C A D 変換 AutoCAD 変換 [オードデスク] DRA-CAD for Windows 変換 [構造システム] ③ Jw_cad 変換 [free soft] ③ D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB	100 レイヤー設定 A ゴルタノブロッター出力			
→ ☆ AutoCAD 変換 [オートデネク] → DRA_CAD for Windows 変換 [構造システム] → ☆ jw_cad 変換 [free soft] ■ D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB .::	□ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
Image: Construction of the state of th				
Image: Sing of the second s	☆ DRA-CAD for Windows 変換 ④ iw cad 交換 [free soft]	[構造システム]		
D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB:				
	D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB			
	■ j w C A D 変換		111-4	- ı°⊐≡∿⇔
i w C A D 変換	出力バス			川人設正
iw C A D 変換 出力パス設定	D¥	450	照	
iwCAD変換 出力パス設定 出力パス 多照	- 文字調整			
iwCAD変換 出力パス設定 出力パス 参照 「文字調整 参照	文字高さ倍率 1.1	+14.00	-	

文字縦横比(幅/高さ) 0.9 文字間隔倍率 0.9		
▼ 英数字を半角に変換	終了(<u>Q</u>)	
▶ 数値にカンマを付けて変換	作図ファイル指定	
□ 寸法線 □ 寸法線端部の○を実点に変換	出力レイヤー指定	変換する作図ファイルの選択

出力パス等の設定をします。

変換(<u>H</u>)

作図ファイル指定 で CAD 変換する作図ファイルを選択します。 をクリックして変換します。

11 設計数量算出の準備をする

設計数量算出の各種設定について説明します。

鉄筋・コンクリート材料を指定する

鉄筋・コンクリート材料は構造計算データで指定した材料で変換されます。 編集が必要な場合等は、以下の設定画面で指定します。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [設計条件(コンクリート・鉄筋・鋼材など)]を選択します。
- 3. [鉄筋コンクリート材料]を選択し、編集する材料を選択します。



各画面で材料を指定します。

① 標準コンクリート材料

┃ 🖥 標準コンクリート材料 [Sample1]	•••
部材 エンゲリート 材種 Fc [N/mm ²] 基礎 24 根巻 24 根巻 24 桂 24 基礎梁 24 左礎梁 24 太梁 24 基礎小梁 24 小梁 24 小梁 24 五寸 24 スラブ 24 スラブ 24 マラブ 24 マラブ 24 マラブ 24 中空スラブ 24	ファイルの削除 - コンクリート種類 : 普通 Ln: 軽量(n=1-2) Sn: 特殊(n=1-3)
登録 参照 初期化	印刷 保存



3)	۲ wttil rs	宗	準跃的	訪材材	4										
	eanaine fa		sici)												
		_	D9	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	ファイル
4	- W2	_	5D295A -	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	Huess
桂	王获和	h r	CDOREA	SD290M	SD290M	SD290M	SD290M	SD290A	SD290M	SD290M	SD290M	SD290M	SD290M	SD290A	鉄筋種類
	他鉄寬	ħ.	SD296A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	A: SR235
間柱	王获重	h r	CDOREA	SD290M	SD295M	SD290M	SD290M	SD290A	SD290M	SD290M	SD295A	SD290M	SD295M	SD290M	C:SR295
\vdash	1包鉄丸	b 1	30290A	SD295M	SD30EA	SD290M	SD290M	SD290M	SD290FA	SD30EA	SD290M	SD30EA	SD230M SD38EA	SD290A	D:SD235
	主鉄筋	Ň		SD200A	SD2050	SD1054	SD20060	SD280M	SD230M	SD10EA	SD230M	SD280M	SD1050	SD20064	F:SD295A
基礎梁		Y	SDOREA	CD30EA	CD30EA	CD30EA	CD200FA	CD30EA	SD30EA	SDallea	CD30EA	CD30EA	CD10EA	SD30EA	G:SD295B
	他鉄筋	÷	SD2054	SD230H	SD230H	SD230H	SD200A	SD230H	SD235A	SD200A	SD230H	SD230H	SD235H	SD200H	1:SD345
<u> </u>		Y	30233H	SD235H	SD235H	SD235H	SD205A	SD235H	SD200H	SD2054	SD235H	SD230H	SD235H	SD2054	J:SDR345
	主鉄筋	÷		SD230H	SD230H	SD235A	SD200A	SD230H	SD235A	SD200A	SD235A	SD230H	SD235H	SD200H	L:SD490
大梁		V	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	X:SPR1 V-SPR2
	他鉄筋	$\hat{\nabla}$	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	Z:SPR3
		v		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
	主鉄筋	Y		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
基礎小梁		×	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
	他鉄筋	Y	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
		X		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
	主鉄筋	Y		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
小梁		X	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
	他鉄筋	Y	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
	主鉄箱	ñ	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
1 22	他鉄箱	ň	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
7	ラブ		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
スラン	ブフカシ		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
中空	スラブ		SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	SD295A	
-	登録	1	参照	1	初期化				1	1		ÉD	R. (存	

④ 個別鉄筋材料



		<u> </u>	フォルト値として登録
呼び名	種類	公称断面積	単位質量
記号 径	1200	[cm2]	[k@/m]
U 7.1	SBPD	0.4	0.315
U 9.0	SBPD	0.64	0.5
U 10.7	SBPD	0.9	0.71
U 11.8	SBPD	1.101	0.864
U 12.0	SBPD	1.25	0.98
0.9	SBPD	0.04	0.5
0 11	SBPD	0.9	0.71
UD 10	SBPD	0.20	0.90
UD 13	SBPD	1.267	0.00 0.00
UD 16	SBPD	1,986	156
UH 6	UHY	0,3167	0.249
UH 10	UHY	0.7133	0.56
UH 13	UHY	1.267	0.995
UH 16	UHY	1.986	1.56
UHD 6	UHY	0.3167	0.249
UHD 10	UHY	0.7133	0.56
UHD 13	UHY	1.267	0.995
UHD 16	UHY	1.986	1.56
MD 10	MK785	0.7133	0.56
MD 13	MK785	1.267	0.995
MD 16	MK785	1.986	1.56
T 10	SPR785	0.7133	0.56
T 13	SPR785	1.267	0.995
T 16	SPR785	1.986	1.56
OD 10	016857-7*	0./133	0.55
OD 18	010857-7°	1.267	0.995
1 10	1080/~/	1.980	1.00
.1 13	JH785	0.7133	0.00 0.00 p
.1 16	.1H785	1.207	1.580
GD 10	GSD685	0.7133	0.56
GD 13	GSD685	1,267	0.00
GD 16	GSD685	1,986	156
TA 10	SPR685	0.7133	0.56
TA 13	SPR685	1.267	0.995
TA 16	SPR685	1.986	1.56
	1 1		1

⑤ 高強度鉄筋使用材料

鉄筋の定着・継手長設定をする

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [設計テーブル(鋼材・鉄筋定着など)]を選択します。
- 3. [鉄筋の定着・継手長]を選択します。



	鉄筋の定差・	嗤手長テーブルのファイル選択	×
$\overline{\mathbf{O}}$	BAR1	配筋指針(2010年改定)	終了
0	BAR2	配筋指針(2010年改訂La優先)	
0	BAR3	配筋指針(2003年改定)	複写
0	BAR4	配筋指針(1986年改定)	削除
0	BAR5		
0	BAR6		
0	BAR7		
0	BAR8		
0	BAR9		
	テーブル作 - 配筋指針 (考慮した)	成 ※ 各改訂年度の「配筋指針」のテーブルを作成します 2010年版の大梁定着Laを考慮する 易合は躯体からはみ出しても La を優先します〉]

あらかじめ『鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説』の「鉄筋の定着の長さ」をテーブルとして用意しました。 9 種類までテーブルを登録することができます。

新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「複写」してテーブルの内容を編集します。

複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを 📧 で指定します。

テーブルを削除することもできます。

※詳細は、ユーザーズマニュアル「操作編」をご参照ください。

-	に右・起手5	モデーノル変更[配筋預針(20) 1 () 年叹定)]									
Fc (N/mm²)		鉄筋種類	777	維手長 (d)	→般(d) [12]	定 定 下端 小梁(d) z	計 筋 [L3] ラフ"(d) はう	7'(mm)	中空 ・般(d) [121	<u>スラブ定第 下端筋 [</u> (d)	着 [L3] (mm)	- 標準鉄筋 - A:SR235 B:SRR235
-18	SD295A	SD295B	有	35	30	10	10	150	30	10	150 🔺	D:SN235
			無	45	40	20	10	150	40	10	150	E:SDR235
0-18	SD345		有	35	30	10	10	150	30	10	150	F:SD295A
			無	50	40	20	10	150	40	10	150	H:SDR295
19-21	SD295A	SD295B	有	30	25	10	10	150	25	10	150	I:SD345
			無	40	35	20	10	150	35	10	150	J:SDR345
19-21	SD345		有	30	25	10	10	150	25	10	150	L:SD490
			無	45	35	20	10	150	35	10	150	X:SPR1
19-21	SD390		有	35	30	10	10	150	30	10	150	1 Y:SPR2 7.9009
			無	50	40	20	10	150	40	10	150	2.0110
24-27	SD295A	SD295B	有	25	20	10	10	150	20	10	150	□高強度鉄筋
			無	35	30	20	10	150	30	10	150	1:SBPD
24-27	SD345		有	30	25	10	10	150	25	10	150	2:SBPDN
			無	40	35	20	10	150	35	10	150	4:1HY
24-27	SD390		有	35	30	10	10	150	30	10	150	5:HIDEC
			無	45	40	20	10	150	40	10	150	
24-27	SD490		有	40	35	10	10	150	35	10	150	
			無	55	45	20	10	150	45	10	150	
30-36	SD295A	SD295B	有	25	20	10	10	150	20	10	150	
			無	35	30	20	10	150	30	10	150	
30-36	SD345		有	25	20	10	10	150	20	10	150	
			無	35	30	20	10	150	30	10	150	
30-36	SD390		有	30	25	10	10	150	25	10	150	
			無	40	35	20	10	150	35	10	150	
30-36	SD490		有	35	30	10	10	150	30	10	150	
			#	50	40	20	10	150	40	10	150 🔻	

コンクリート強度、鉄筋種類毎に定着を設定します。(フック無しの設定値で算出しています。)

鉄筋継手設定をする

階毎、部材毎に鉄筋の継手設定を行います。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [設計条件(コンクリート・鉄筋・鋼材など)]を選択します。
- 3. [鉄筋継手設定]]を選択します。



以下の画面が表示されます。

1	鉄	筋継手言	設定 [Sample	e1]													×
†	È∙₽	間柱・大家	柔・小梁の鉄	筋の維手方	去条件												
3	※ 斜	能手方法	が【圧接】	であっても、谷	≧ 19 <u>▼</u> ~	· 径 41 👤	以外の鉄筋	は【重ね維手]とする。								
	※ 維手方法が【止視】で上記条件の範囲内の鉄筋径であっても、鉄筋径ランク差が 7mm 』を超える場合は【重ね維手】とする。																
R	き 住 間柱		肫	壁 大梁			가	梁	ス	ラブ	基	礎					
P	PB	鉄筋	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	維手方法	維手長(L1)	
	4						重ね維手	テーブル									
	3	切る	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	重ね維手	テーブル	
	2	切る	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	重ね維手	テーブル	
	1	切る	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	重ね維手	テーブル	
-	ŧŸ	通す	圧接				重ね維手	テーブル	圧接		圧接		重ね維手	テーブル	重ね維手	テーブル	
H-	-																
紺	出手長(L1)で「空欄」または「O」の場合、鉄筋の定着・維手長テーブルより維手長を参照します									HEI	P	初	期化	ОК	キャンセル	1/1	

継手方法の設定を行います。

鉄筋詳細設定をする

- 1. [数量]タブを選択します。
- 2. [数量算出]を選択します。
- 3. [鉄筋算出]を選択します。



「詳細設定」タブを選択すると以下の画面が表示されます。

算出 部位・出力指定 詳細設定 詳細設定
詳細設定 ●般定尺長 全般 注筋の継手箇所設定 全 後 塗 基礎梁 小梁 基礎小梁 全 後 梁 基礎梁 小梁 基礎小梁 ・ 市本あたり 0.5 箇所 ・ ご 溶接 ○ フック ● ・ たいり 5000 mm毎に 0.5 箇所 ● ●
2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.

定尺長の設定や主筋の継手箇所設定はここで設定します。

12 設計数量算出をする

設計数量算出の準備ができたら数量算出を行います。 『SIRCAD』ではコンクリート、鉄筋、鉄骨の算出ができます。 数量算出を行うと算出結果の CSV ファイルが『SIRCAD』データフォルダに作成されます。

コンクリート算出をする

- 1. [数量]タブを選択します。
- 2. [数量算出]を選択します。
- 3. [コンクリート算出]を選択します。 SIRCAD Ver.6 [Sample1] - □ × J O B 選択(F) 個別数量(I) エ 区(A) 入力 構造区 数量





<u>算出実行</u>をクリックして算出を行います。

算出が終了すると以下のメッセージが表示されます。

コンクリート算出 [Sample1]	×
算出が終了しました (所要時間: 0分04秒)	
ОК	

「OK」をクリックします。

以下の画面で結果確認及び印刷を行います。

💦 コンクリート算出 [Sam	ple1] —		
算出 部位·出力指定	詳細設定 結果	確認 🗲	結果確認のタブをクリック
ÉDÆ	リプレビュー		
【 右クリック:印刷設定・創	解除 ダブルクリッ	ク:確認】	
<u>工区</u> 基礎	1:工区1 印刷する		
<u>柱</u> 間柱 大梁	印刷する 印刷する 印刷する		
基礎梁 小梁	印刷する 印刷する	◄	┏認する箇所をダブルクリックして開く
<u>基礎小梁</u> スラブ	印刷する 印刷する		
<u>底盤</u> 壁	印刷する 印刷する		
雑壁 工区/部位/階別集計	_ 印刷する 印刷する		
<u>工区/階別集計</u> 工区集計	印刷する 印刷する		

鉄筋算出をする

- [数量]タブを選択します。 1.
- 2. [数量算出]を選択します。
- 3. [鉄筋算出]を選択します。



除 鉄筋算出 [Sample1]	~
算出】部位·出力指定】詳細設定】 結果破認	必要に応じて部位・出力指定や、
	詳細設定を行う
出力条件 出力条件 【部位指定】 基礎、基礎柱・柱、間柱、大梁、基礎梁、小梁、基礎小梁、スラブ、底盤・耐圧盤、雪	<u><u><u></u></u></u>
【出力指定】 各部材計算結果、工区/部材/階/径 別集計、工区/部材/径 別集計、工区/径 別集計	
【指定工区数】 1 工区	
【出力フォルダ】 D:¥SIRCAD6¥DATA¥Sample1.SIRB¥鉄筋算出結果¥	
【詳細設定】 定尺: 太径 16以上 8000mm 細径 16未満 10000mm	
せん断補強筋の溶接型: 溶接	
圧接する鉄筋径範囲: D19~D41 (左記以外の径に関しては、重ね継手とします	f。)
梁の圧接方法:但し、上記範囲の鉄筋径に適用します。	
梁 連続 1 本あたり 0.5ヶ所 5000mmあたり0.5ヶ所 単独 径16以上 7000mm毎に1.0ヶ所 径16未満 6000mm毎に1.	0 ヶ 戸í
基礎梁 連続 1本あたり 0.5ヶ所 5000mmあたり0.5ヶ所 単独 径18以上 7000mm毎に1.0ヶ所 径16未満 6000mm毎に1.	0 ヶ <i>戸</i> 所
小梁 径16以上 7000mm毎に1.0ヶ所 径16未満 6000mm毎に1.	0 ヶ戸行
基礎小梁 径16以上 7000mm毎に1.0ヶ所 径16未満 6000mm毎に1.	0ヶ戸行
機械式鉄筋定着使用設定:[使用しない]	

算出が終了すると以下のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

以下の画面で結果確認及び印刷を行います。

】}} 鉄筋算出 [Sample1]		1 ×	_	
算出 部位·出力指定	詳細設定 結果	確認		結果確認のタブをクリック
[[]]E门编]	プレビュー		_	
【 右クリック:印刷設定・角	郓除 ダブルクリッ:	ク:確認】		
工区 基礎 桂 間柱 大梁 基礎梁 小梁小梁 支づ 底盤・耐圧盤 壁 工区/部材/階/径別集: 工区/部材/径別集計 工区/部材/径別集計 柱圧接箇所 青柱圧接箇所 太梁圧接箇所 太梁圧接箇所 太磁上接箇所 基礎小梁圧接箇所 基礎小梁圧接箇所	1: 1: 印刷する 1 印刷引する 1 印刷引うる 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		{	確認する箇所をダブルクリックして開く

鉄骨算出をする

- 1. [数量]タブを選択します。
- 2. [数量算出]を選択します。
- 3. [鉄骨算出]を選択します。



■ 該骨算出 [Sample] - □ × 算出 部位・出力指定 詳細設定 書果 確認	必要に応じて部位・出力指定や、	
(部位祖)/18/2 [1+1000/2] (第位祖) (第位祖) (第位祖) (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位祖)/18/2 (第位和/18/30和4別集計、工区/部材/18/30和4別集計、工区/30和4目目、10月14年1月14年1月14年1月14日 (第440月14日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	詳細設定を行う	

算出実行 をクリックして算出を行います。

算出が終了すると以下のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

以下の画面で結果確認及び印刷を行います。

👔 鉄骨算出 [Sample] 🛛 🖳 🗸	
算出 部位·出力指定 詳細設定 結果確認	結果確認のタブをクリック
印刷プレビュー	
【 右クリック:印刷設定・解除 ダブルクリック:確認】	
工区 1:工区1 柱 印刷する 間柱 印刷する 六梁 印刷する 小梁 印刷する ブレース 印刷する ブレース 印刷する 工区/部材/階/鋼材 別集計 印刷する 工区/部材/階/鋼材 別集計 印刷する 工区/部材/階/鋼材 別集計 印刷する 工区/部材/階/推手ブレート 別集計 印刷する 工区/部材/階/推手ブレート 別集計 印刷する 工区/部材/推手ブレート 別集計 印刷する 工区/部材/推手ボルト 別集計 印刷する 工区/部材/推手ボルト 別集計 印刷する 工区/推手ブレート 別集計 印刷する 工区/推手ボルト 別集計 印刷する	確認する箇所をダブルクリックして開く

13 個別数量入力で数量を追加する

個別数量入力はRCとSの入力画面があります。RCとSは別々に入力してください。

- 1. [数量]タブを選択します。
- 2. [個別数量]を選択します。
- 3. [RC個別数量入力]もしくは[S個別数量入力]を選択します。



RC 個別数量入力:

コンクリート、型枠、鉄筋の数量を入力します。コンクリートのみ、型枠のみ、鉄筋のみの入力も可能です。

1 6 R	C個別獎	対量入力] [Sar	nple1]																									
																		_											
No		8 8	শয	Fc	幅	長さ	高さ	ヶ所	81 [m31	出	幅	長さ	ケ所	at fm²1	形	径	0	鉄筋種類	長さ	本勤	ヶ所	at [m]	一月	- 15	標構	転鉄筋	定者	3×21	· –
				-	1.43	1003	Dig		Duo 1		043	Did	-	0.01	-01		0		Cod.	-		Lud.	1±	9.111	1±	21.	2 7 11		
2																													
3																													
4																													
6					_														1	~	1 66	-							
7						コンクリ	ノート			-		型杯	꾸							爭	天射	j							
8								_					·																
10	1																												
11																													
12																													
14																													-
4																													•
		273	etn	1	2781	R2	77/1	BUR£	<i>z</i> .,		1			拾	*	-	10		4			- 1	_		FOR	1	(9.77	1	
California de	070 NY	10.00 2.00						11				L C A LONG	4678				<u> </u>			: г	た	±∓		_	-1 MB3		1#1#		<u></u>
低哦;	、鉄肋)	正君(伊	用时	ICO)A	「限業」こ	、反映)[#	iit] + [↓	リキーで	3170,	(下表1)	10917	2111億2	早少1フ	,口道道	<u>#</u> 917		4		ПЕ	LP	5	公小	•						h.

S 個別数量入力:

鉄骨、プレート、ボルトの数量を入力します。鉄骨のみ、プレートのみ、ボルトのみの入力も可能です。

 诸 S 個 男]]数量入;	力 [Samp	ole1]																							-	×
No	階	部材	形状	н	B	f面寸法 tw	鉄f	骨(1階 - R	分の数 材種	量) 断面積 [cm²]	長さ [n]	ヶ所	it M	形状	1番 [mn]	ブレー 長さ [mn]	・ト (1階 板厚 [nn]	分の数量 材種	E) 枚数	(本積 [m3]	ボル 径	ト(HTB) 材種	(1階分の 首下長 [nn]	(量機) (費券	コメント		
1 2 3 4 5 6]					1	鉄帽	骨							7	° V-	١				Ť,					
8 9 10																									HEL	Pを表	示
11 12 13 14																											•
首下長さ	f7 § [mm]	這加		行削除		7741년	间除		チェック				検索		ā	監換			枠初	DINA IL				印刷	保存	?	

階段の数量を追加する

例を挙げて説明します。

- 1. [数量]タブを選択します。
- 2. [個別数量]を選択します。

3. [RC 個別数量入力]を選択します。



階段の数量を入力した例:



HELPを見ながら入力

追加する数量を入力します。

"- (マイナス)"で入力すると数量を減らすことができます。

14 各種帳票を作成する

鉄筋、鉄骨の数量算出の結果と、個別数量入力で増減した数量を合算して帳票を作成します。

作成できる帳票は以下の通りです。 各種帳票は部材定義・配置がある場合、作成されます。

- 1. 総集計表
- 2. 比率表
- 3. コンクリート当たり比率表
- 4. コンクリート部材個数一覧
- 5. コンクリート集計表
- 6. 型枠集計表
- 7. 径別鉄筋集計表
- 8. 部位別鉄筋集計表
- 9. 圧接集計表
- 10. 部位径別鉄筋集計表
- 11. 特殊フープ集計表 ※1
- 12. 特殊スターラップ集計表 ※1
- 13. 機械式鉄筋定着集計表 ※2
- 14. 鉄骨比率表
- 15. 鉄骨階別集計表
- 16. 材種別鉄骨集計表
- 17. プレート・ボルト集計表 ※3
- 18. 杭集計表

コンクリートや型枠に関する項目は、個別数量として入力した値が反映されます。

※1 特殊フープ/スターラップ集計表は、フープ/スターラップにスパイラル筋を指定した場合に作成されます。

※2 機械式鉄筋定着集計表は、機械式鉄筋定着工法を"使用する"または"比較検討する"に設定した場合作成されます。

※3 プレート・ボルト集計表は、『SIRCAD』で継手を作成した場合に出力されます。
帳票を作成する



作成をクリックします。

[区1:総集計表		· ・ 【左ダブ)	レクリック:拡	大 右:	ダブルクリッ	ゆ:縮小】					
. ∈ 1/8 ⊮ н	Q -	C702	ッタの設定(E)	. 3	表示ページモ「	唰(⊻)	ED刷(Ð	PDF出力(S)	閉じる(<u>C</u>)	
											1
		5 総単計長 (工区 1 コンタート	/供名:Sample1)	**	X (2) (2	NTR 8	2.68%	2020年03月27日 2020年03月27日			
			土間コン 会社	[m]							
			101	**	X (2) 2	NTRE	上标数量	PRE			
			1200 0200	(ed) (ba)							
			會計	[64]							
		-86.5	製版1巻 SC025A-1005	#R (%)	基礎数 堂 40734	助下数量	上科教堂 19820	影歌堂 25764			
			(24/(34) 5088A/082	(4)	()	()	5.8367	7.71848			
			(3x/(3a)) S0085A/D18	Ded 1	()	()	()	206402			
			(24/(78)) 50885A/D16	(14)	() 8638	()	()	() 8638			
			(24/(78)) 50886A/D13	(hg)	1.30677	()	() 54542	7.5618			
			(3x(4)%) S088A/D18	(%)	() 2.37165	()	6.38188	() 9.00894			
			(24(行為) 発行	(hg)	6.8623	()	() 16.36273	() %.#334			
		17 0	48.47-47	**	基礎教士	19节数量	上移動量	88g			
			5085A025-025 5085A025-025	[9) [9)	4.0		2 D 3 OF 5	6.0 340.5			
			5085A 0 9-0 9 5085A 0 9-0 9	[9用] [9用]			60 60	60 60			
			會計	[9) [1]	60		105	400.5			
		*******	著小(7) 會計	編(R [9開]	基礎教堂	助下数量	上移散量	彩教堂			

以下のように印刷プレビュー画面が表示されます。作成された帳票を確認できます。

画面の拡大・縮小、印刷ができます。

15 システムテーブル管理

[システムテーブル管理]では、システムデフォルト設定(TABLE フォルダ内の設定ファイル)を一つのファイルに登録し、 他の PC に簡単に受け渡すことができます。

- 1. [入力]タブを選択します。
- 2. [ユーティリティー]を選択します。
- 3. [システムテーブル管理]を選択します。



システム設定を登録する

システム設定をファイルに登録します。

下記画面にて、必要に応じて保存場所、ファイル名等を変更します。

[登録]をクリッ	クします。						
🚺 システムテーズ	ブル管理 - D X						
ーシステムテー システムテー または登録し あらわい"わけ	ブル管理〈概要〉 ブル設定情報を1つのファイルに登録。 たシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。						
物件毎に登録 また、複数の 簡単にシステ	ハ元がレンクテレオテロノル設定情報を読み込むことができます。 いてあるシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。 パンロンでご利用の場合、 ムテーブル設定情報を受け渡すことができます。						
- 現在のテーブ D:¥SIRCAD64 (テーブルバン	リルパスー (TABLE¥ ロコ環境設定:「テーブルパスの設定」で変更することができます)						
登 録	-システムテーブル設定情報をファイルに登録します JOB毎の設定 JOB(フォルダ内)毎の設定情報も登録できます。 JOB : Sample1						
し 読み込み	▲ エエJUDU/JR定旧報1025か9つ 保存する場所 D¥SIRCAD6¥						
初期化	タイトル コメント 作成日:0年0月0日 作成者:ムムム コメント:ロロロロロ						
	タイトルやコメントを入力しておくと、 登録 キャンセル						
	仮じ いの ひとさに 唯認 り 能						

システム設定を読み込む

登録したシステム設定ファイルを読み込みます。

- 1. [読み込み]ボタンをクリックします。
- 2. [ファイル名]から読み込むシステムファイルを選択します。
- 3. [テーブルに読み込み]をクリックします。

🚺 システムテー	ブル管理		_		×			
- システムテーブル管理〈概要〉 システムテーブル設定情報を1つのファイルに登録、 または登録したシステムテーブル設定情報を読み込むことができます。								
あらかじめ納 物件毎に登録 また、複数の 簡単にシステ	入先別にシステムテーブル設定 してあるシステムテーブル設定 パンコンでご利用の場合、 ムテーブル設定情報を受け渡す	情報を登録することで、 情報を読み込むことができます。 ことができます。						
現在のテーフ D:¥SIRCAD6 (テーブルパ)	ルバス FTABLE¥ Rは環境設定:[テーブルバスの語	設定]で変更することができます)						
システムテーブル設定情報ファイルを読み込みます ファイルの場所 D:¥SIRCAD6¥								
	ファイル名 Table1.st3	タイトル A社用 コンント						
読み込み		コメンド 作成日:0年0月0日 作成者:ムムム コメント:ロロロロロ			_			
*刀期化 								
		, JOBIこ読み込み テーブルに	読み込み	キャンセ	211/			

(1) テーブルに読み込み

現在使用している TABLE フォルダに設定を読み込みます。

(2) JOB に読み込み

選択した JOB に設定を読み込みます。 [JOB に読み込み]をクリックし、読み込む JOB を選択します。 JOB に読み込んだ場合は、TABLE フォルダには設定が読み込まれません。

16 JOB間データコピー

JOB間データコピーをする

JOB 情報を部分的に他の JOB にコピーすることができます。

- 1. [入力]ボタンを選択します。
- 2. [ユーティリティー]→[JOB 間データコピー]を選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。





・コピー元 JOB :

「元 JOB」ボタンをクリックして JOB を選択します。 例えば、一貫構造計算データで設計変更があった場合、最新の一貫構造計算データを インポートした『SIRCAD』データを「元 JOB」に指定します。 「元 JOB」を指定すると、下記のように項目一覧が表示されます。 コピーする項目に、ダブルクリックでチェックします。

・コピー先 JOB:

「先 JOB」ボタンをクリックして JOB を選択します。 例えば、初めに設計した一貫構造計算データをインポートして、SIRCAD で編集を進めているデータを 「コピー先 JOB」に指定します。

・生成 JOB 名:

新規に生成する JOB 名を指定します。

必ず別名で「生成 JOB 名」を指定します。(誤ってデータの上書きをしないように、元 JOB、先 JOB と異なる名前を指定します。)

・実行:

「先 JOB」をベースに、チェックを付けた項目だけが、元 JOBの内容で上書されます。 例えば、設計変更で柱の断面寸法が変わった場合、「生成 JOB」では、 「元 JOB」をベースにして、柱断面寸法のみ「先 JOB」の状態となります。

17 製品サポートサービス

『SIRCAD』の製品サポートサービスについて説明します。

※『SIRCAD』のサポートサービスは、条件が予告なしに変更されることがあります。 ※ホームページの内容、およびアドレスは予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

メールサポート: support@scinc.co.jp弊社ホームページ: https://www.scinc.co.jp

最新版を取得する

注意

最新版をホームページからダウンロードするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

取得方法

弊社ホームページの『SIRCAD』最新版ダウンロードページを開き、ダウンロードしてください。 https://www.scinc.co.jp/sircaddl.html

メール配信サービス『SIRCAD』通信について

『SIRCAD』の最新情報や関連情報などは、『SIRCAD』通信にてメールでご連絡しております。 『SIRCAD』通信にご登録頂いたメールアドレス宛に、メールを送信します。

『SIRCAD』通信

- ・『SIRCAD』通信は無料メール配信サービスです。
- ・主に Revision Up 時に配信しております。

<内容>

- 『1. 機能追加&機能強化のお知らせ』
- 『2. Revision 改変履歴』等

ご登録方法

下記、弊社ホームページの『SIRCAD』通信ページを開きます。 https://www.scinc.co.jp/sircadmail.html

※ 株式会社 ソフトウェアセンター		製品情報	CSI製品	会社概要	お知らせ	お問い合わせ
SIRCAD通信						
SIRCAD通信 とは、SIRCADの最新情報 でも、SIRCAD通信をご購読いただく;	や関連情報などをお知らせする メール配信サー し ことでSIRCADの最新情報や関連情報などを入手す	ビス(無料) です。 「ることができ	,弊社ホー <i>」</i> ます。	ムページをご	覧になる時間が	ばない時
ご購読受付						
SIRCAD通信のご購読開始は、下記の	フォームに必要情報をご入力の上、 <u>送信ボタン</u> を	押してください	No			
メール	アドレス・					
氏名。						
会社名	(組織名)*					
	M9E2FA					
CAI	ртсна	*				
*は入力	必須です。					
	送信					
本サービスは不定期発行です。 プログラム	の修正/追加やその他お知らせ事項等がある場合にSIRC	AD通信を発行い	たしますので	ご了承ください	lo	
本サービスは、事情により休止させていた ご登録いただいたメールアドレス宛てに、	だく場合もありますがご了承ください。 弊社よりお知らせや広告・アンケートの協力をお願い申	し上げることが	ございますのつ	でご了承くださ	u،	^
配信停止を希望される場合は、SIRCAD通信	言本文末尾の「購読解除」のリンクから行うことができる	ます。				
L						
	入力フォームに必要情報をご入	、力のうえ、	送信ボ	タン		

をクリックしてください

配信停止を希望される場合、『SIRCAD』通信本文

末尾の「購読解除」のリンクから行うことができます

謝辞

設計数量算出機能および中空スラブ定義の追加に関して山田建設株式会社様より技術的協力を賜りました。 ご協力に感謝申し上げます。

> 2020年6月 株式会社ソフトウェアセンター

SIRCAD

スタートアップガイド

<Program Ver6.00>

2020年06月発行 2022年04月改訂

販売元:(株)ソフトウェアセンター

〒101-0031 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル6 F support@scinc.co.jp